

北海道議会時報

昭和59年第2号

第 1 回 定 例 会



北海道議会事務局

北海道議会時報第36巻第2号(昭和59年第1回定例会)

(表紙写真説明)

道東観光圏

湖、湿原、岬、流水など多彩な自然景観のほか、天然記念物など数多くの優れた観光資源を有する自然観光レクリエーション地域として高く評価されている。

写真は、神秘的なまでに美しい「摩周湖」である。

(釧路観光連盟提供)

……第2号もくじ……

第1回定例会

概	要	1		
本	會	議	2	
提	出	案	件	15
決	議	案	19	
意	見	案	19	
請	願・陳	情	24	

委員会動き

議会運営委員会	27
常任委員会	36
特別委員会	44
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
冷害対策特別委員会	
予算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	57
-------------	----

資 料

第1回定例会において議決を経た 条例の公布調	59
第37回衆議院議員総選挙結果	62

3月のメモ

議 会 日 誌

▶ 2 月

- 23日（木） 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会
- 24日（金） （第1回定例会開会）
議会運営委員会
本会議（会期決定＜33日＞、道政執行方針、提案説明、教育行政執行方針、冷害対策調査終了議決、石狩東部広域水道企業団議会議員選任同意）

▶ 3 月

- 2日（金） 議会運営、農務各委員会
本会議（代表質問＜1人＞）
- 3日（土） 議会運営、総務各委員会
本会議（日程延期）
- 6日（火） 議会運営委員会
本会議（意見案1件可決）
- 7日（水） 議会運営委員会
本会議（代表質問＜1人＞）
- 8日（木） 議会運営委員会
本会議（代表質問＜2人＞、追加提案説明、一般質問＜2人＞）
- 10日（土） 議会運営委員会
本会議（一般質問＜4人＞）
- 13日（火） 議会運営委員会
本会議（一般質問＜5人＞）
- 14日（水） 議会運営委員会
本会議（一般質問＜4人＞）
- 15日（木） 議会運営委員会
本会議（一般質問＜3人＞）
- 16日（金） 議会運営、総務各委員会
本会議（一般質問＜2人＞）
- 17日（土） 議会運営委員会
本会議（一般質問＜3人＞、追加提案説明）
- 21日（水） 議会運営委員会
本会議（一般質問＜2人＞）
- 22日（木） 議会運営委員会
本会議（一般質問）
- 23日（金） 議会運営委員会

本会議（一般質問＜3人＞、予算特別委員会設置）

予算特別委員会（正副委員長の互選、予算第1・第2・第3各分科会設置）

予算第1・第2・第3各分科会（正副委員長の互選）

- 24日（土） 議会運営、総務、建設各委員会
予算特別委員会（先議案審査、意見調整）

本会議（特別委員補欠選任、補正予算等先議案件可決）

- 26日（月） 予算第1・第2・第3各分科会（各部所管審査）

- 27日（火） 議会運営委員会、予算各分科会（各部所管審査）

本会議（会期延長＜3日間＞）

- 28日（水） } 予算各分科会（各部所管審査）
29日（木） }

- 30日（金） 議会運営委員会、予算各分科会（各部所管審査）

予算特別委員会（総括質疑）

本会議（会期延長＜1日間＞）

- 31日（土） 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、決算特別各委員会

予算特別委員会（総括質疑・意見調整）

本会議（各委員長報告、議案等可決、追加提案説明、出納長の選任同意、決議案1件可決、意見案5件可決、請願、陳情審査）

（第1回定例会閉会）

▶ 4 月

- 2日（月） 総務、農務、農地開発、水産、文教林務各委員会

- 10日（火） 厚生、商工労働、建設、文教林務、石炭対策特別各委員会

第1回定例会

総額1兆7,485億円余に及ぶ59年度当初予算成立

▶使用料、手数料等の引上げに係る関係条例の一部を改正する条例案可決◀

概 要

- ① 横路道政の二年目を迎え、景気の回復、心のかよう地域社会づくり等の政策予算などを審議する第1回定例会は、2月24日招集され、会期を3月27日までの33日間と決定の後、総額1兆7,485億2,500万円に及ぶ昭和59年度当初予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から道政執行方針及び提出案件に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明、大平秀雄冷害対策特別委員長（自民）から昭和58年における異常気象による冷害対策に関する報告の後、本件について調査終了することに決定。次いで、石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙の後、議案調査のため、2月25日から3月1日まで休会した。
- ② 休会あけの3月2日から代表質問に入り、新沼浩議員（自民）からの財政問題、行財政改革、景気対策等に係る知事の基本姿勢についての質問に対する答弁をめぐって、議事進行発言があって審議が中断したが、6日審議を再開し、意見案1件を可決、8日には代表質問を終結。次いで、昭和58年度一般会計補正予算等の追加提出議案について、知事から提案説明の後、一般質問に入り、議案調査のため9日は休会することに決定。17日には、北炭幌内炭鉱の再建資金の融資に関する昭和58年度一般会計補正予算が追加提案され、知事から提案説明の後、一般質問を続行し、23日には28人に及ぶ一般質問を終結。同日直ちに52人からなる予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、24日には、石炭対策及び公害対策各特別委員補欠選任の後、昭和58年度一般会計補正予算等について先議を行い、委員長報告のとおり原案可決し、議案調査のため26日は休会した。
- ③ 予算特別委員会は、3月23日、正副委員長の互選を行い、3分科会を設置のうえ、24日に昭和58年度補正予算に対する先議を行い、同日、質疑を終結し、原案のとおり可決することに決定した。26日から各分科会において、昭和59年度予算等に対する各部所管審査に入り、30日に質疑を終結し、同日各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑に入り、31日には、総括質疑を終結し、採決の結果、議案第1号について7項目の附帯意見を付し原案可決、その他の議案はいずれも原案のとおり可決した。
- ④ 本会議再開日の27日は、会期を3月30日まで3日間延長することとし、3月28日から29日まで休会することに決定。30日の本会議では、さらに会期を3月31日まで1日間延長することに決定。
- ⑤ 会期最終日の31日は、各付託議案に対する各委員長報告が行われ、いずれも原案可決または同意議決。次に、出納長選任同意案件を原案のとおり同意議決し、決議案1件、意見案5件を可決の後、請願審査の件について委員会決定のとおり2件を採択と決定した。次いで、前会から継続審査中の報告第2号（昭和57年度各会計歳入歳出決算）の閉会中継続審査並びに閉会中請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、前会から継続審査中の報告第2号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来37日目の3月31日午後10時50分閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況				計
		原案可決	同意議決	継続審査	報告のみ	
知 事	99	96	2	(1)	1	99(1)
議 員	7	7	--	—	—	7
計	106	103	2	(1)	1	106(1)

注 括弧内は、継続審査に係る議決件数を示し、外数である

本 会 議

○2月24日(金) 午前10時8分開議、三上勇議長、昭和59年第1回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、元議員 太田益夫氏(1月28日)の逝去について弔意を表した旨報告。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から3月27日までの33日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第87号を議題とし、知事から道政執行方針及び提出議案に関する説明並びに教育長から教育行政執行方針に関する説明の後、

日程第4 昭和58年における異常気象による冷害対策に関する件を議題とし、大平秀雄冷害対策特別委員長(自民)から、委員会における調査の経過と結果について報告があり、委員長報告をもって調査終了することに決定。

日程第5 石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙の件を議題とし、選挙の方法は、指名推せんとする事とし、また指名の方法は、議長において指名することについて決定し、議長指名により、高橋庸議員(社会)を当選人と決定。

次いで、議案調査のため、2月25日から3月1日まで休会することに決定し、午前11時17分散会。

○3月2日(金) 午前10時8分開議、諸般の報告の後、

日程第1 請願第33号を議題とし、石炭対策特別委員会に付託することに決定。次に、

日程第2 議案第1号ないし第87号を議題とし、代表質問に入り、

新沼 浩議員(自民)から、

① 知事の基本姿勢に関し、道民党の性格、公約の理解と公約実現の予算づけについての所信、昭和59年度北海道開発予算獲得のための



道選出与野党国会議員団による本道政治力結集についての考え方、道道小樽臨港線問題に対する知事の対応

- ② 財政問題並びに59年度予算編成上の諸問題に関し、健全財政の堅持についての決意、道財政の現状と今後の財政運営の見通し、60年度以降の健全財政運営と中期的財政計画、59年度予算編成に当たっての具体的な施策の選択についての考え方と道職員にかかわる予算についての考え方
- ③ 行財政改革に関し、本庁機構の改編を行った真意及び道政の科学化と合理化の取り組み、職員定数の削減と行革の断行についての所信
- ④ 道当局と職員団体との正常な交渉ルール等についての見解
- ⑤ 北海道新長期計画の策定に関し、計画策定にあたっての理念と国の計画との整合性、北海道開発の現状認識、北海道開発の戦略、北海道経済の自立についての所見、計画策定の手法についての見解、一村一品運動と経済の自立化との関連
- ⑥ 景気対策に関し、本道の景気の現状と見通し、特定不況業種の現状と今後の見通し並びにこれら関連中小企業の対策、雇用の実態についての認識と今後の対応
- ⑦ 交通安全問題に関し、シートベルト着用の義務化に対する所信、シートベルト着用の他府県の状況、道路交通法改正による義務化の見通し、シートベルト着用促進についての所信
- ⑧ 教育問題に関し、校内研修の有効な活用方途と執行に当たっての通達、研修事業の実施時期、方法等についての所見、校内暴力や非行の低年齢化に対する取り組み、小・中学校における学力の低下と高校中途退学者の激増との関連における非行防止についての認識、青少年の健全育成等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。高橋康之議員(自民)から議事進行発言があり、議事進行の都合により、午前11時58分休憩、午後3時20分再開し、直ちに延会。

○3月3日(土) 午前11時19分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して、午前11時20分延会。

○3月6日(火) 午後3時17分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第87号を議題とし、議事進行の都合により、日程第1の議事を中止し、意見案第1号を議題とすることを異議なく決定の後、

追加日程 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第1の議事を継続し、**代表質問**を継続、知事から3月2日の本会議における新沼浩議員(自民)の質問に対する補正答弁の後、新沼浩議員から再質問があって、議事進行の都合により、午後4時4分休憩、午後4時21分再開し、直ちに延会。

○3月7日(水) 午後2時開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第87号を議題とし、**代表質問**を継続、知事から3月6日の本会議における新沼浩議員(自民)の再質問に対する答弁があって、次に、



熊谷 克治議員(社会)

から、① 知事の政治姿勢に関し、平和、憲法についての所信、情報化社会と技術革新への対応、庁内体制の刷新

- ② 財政問題に関し、自治体財政の現状認識、国に対する適切な地方財政対策の働きかけ
- ③ 新しい総合計画の策定に関し、発展計画の点検報告と新総合計画の関係、新計画策定の基本的考え方と取り組み
- ④ 産業経済問題に関し、企業誘致方策についての基本的な所信、人材の育成と技術者の養成、中小企業の国際化推進のための研究会設置、農業への先端技術導入の取り組みと必要性、日本海地域の漁業振興策と対岸諸国との交流、道有林会計の体質強化策、観光振興の基本的な考え方と具体的な対策、本道交通体

系に対する基本的な方向、交通対策推進調査費の具体的な内容

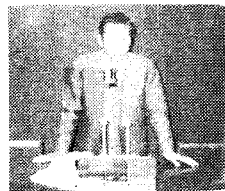
- ⑤ 福祉行政に関し、福祉計画策定の基本的な方向と新総合計画との関連性、ノーマライゼーション問題懇話会の検討課題と福祉計画策定のかかわり、高齢者対策のビジョン、高齢者問題研究協会の構想と道行政の関係

- ⑥ 教育問題に関し、平和教育の基本的な考えと具体的な進め方、北海道教育長期総合計画策定と新長期計画との関連性、北海道地方美術館の調査結果と中央、地方美術館の役割分担との相互の関連性並びに今後の具体的な進め方、北海道開拓記念館の位置づけについて質問があり、知事、教育委員長及び教育長から答弁、午後3時23分延会。

○3月8日(木) 午前10時16分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第87号を議題とし、**代表質問**を継続、

西村 慎一議員(道政)



から、① 道政執行方針と59年度予算案に関し、道政の執行に当たるうえの政治姿勢、59年度予算の性格と特色、公共料金

の引き上げ、教育施設の整備と道税の超過課税、エネルギー対策調査費等各種調査費についての所見、財政調整の基金と今後の財政運営方策

- ② 当面する道政の重要課題に関し、長期的景気対策、日本海地域の漁業振興策、漁船漁業の再編整備の進捗状況、再編計画を示す時期及び内容、新北海道計画策定に当たっての基本認識、海洋開発の基本的方向、エネルギー開発、セラミックス研究開発の取り組み、石狩湾岸道路の再検討と札幌モノレール計画の研究についての見解、小樽運河問題に関し、運河保存派の運動の高まりに対する受けとめ方、署名簿の公表に対する判断、運河部分のルート変更等に対する所見、この問題に対する知事の最終判断

- ③ 教育問題に関し、学習指導要領の法的拘束力、伝習館訴訟に類似した事例の有無と道教

委の措置、校内における暴行事故などの未然防止指導について

質問があり、知事及び教育長から答弁。西村議員から再質問があり、知事及び教育長から答弁の後、議事進行の都合により、午前11時46分休憩、午後1時13分再開。次いで、



伊藤 武一議員(公明)

から、① 財政問題に関し、財政硬直化を防ぐ減量経営のための予算編成、各種調査費計上の考え方と将来における財政

需要増高への対処、低レベル放射性廃棄物の貯蔵施設調査費を計上した基本姿勢、減債基金の取り崩しと将来の公債費増高への対処、58年度末の基金取り崩し額の見通し及び59年度末における三基金の残高

② 組織機構の問題に関し、機構改革の基本的な考えと今後の具体的な進め方

③ 当面する課題に関し、小樽運河の埋め立て問題に対する知事発言の真意と取り組みの決意、使用料、手数料の値上げに対する所見

④ 道民の健康と環境問題及び福祉行政に関し、国立医大の入学定員削減の対応策、医師の地域偏在是正策、飲料用地下水の汚染対策、使用済み乾電池の処理対策、福祉施策に対する基本姿勢、福祉施策の推進とボランティア活動のかかわりについての所見、市町村国保財政への道費助成とその配分方針

⑤ 観光行政に関し、観光振興の基本的な考え方、国際会議場設置に対する見解、国際会議場の設置とリゾートづくりとの関連づけ

⑥ 新計画の策定に関し、従来の発展計画に対する評価、新計画に対する基本姿勢、新計画と地域振興との関連

⑦ 経済政策に関し、特別対策事業費の財源確保の見通しと財源確保ができない場合の措置、企業誘致のための魅力ある地域づくりなどの総合的な施策

⑧ 教育問題と青少年対策に関し、資質のすぐれた教員の確保策と現職教員の資質向上策、家庭教育の推進策、有害図書自動販売を規制する条例改正についての所見、青少年の非行防止のための法的規制措置について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。

伊藤議員から再質問があり、知事から答弁の後、同議員から再々質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、日程第1の議事を中止し、議案第88号ないし第96号を議題とすることを異議なく決定の後、

追加日程 議案第88号ないし第96号を議題とし、知事から追加提出案件に関する説明の後、議事進行の都合により、午後3時16分休憩、午後3時30分再開。

日程第1にあわせ、追加日程を一括議題とし一般質問に入り、

生駒 隆介議員(自民)から、

○ 住宅都市行政にかかわる諸問題に関し、都市の再開発推進方策、市街地再開発事業の対策とその成果、事業推進上の隘路並びに今後の推進方策、再開発事業の助成措置についての所見、屋外広告物と都市景観との関連、地下共同溝建設の所見、北海道建築指導センターの存在価値、業務実績に対する評価と拡充強化策、都市カルテ作成の目的、構想、活用方法、スケジュール及び期待する成果、地盤沈下防止対策、泥炭地域の土地利用に当たっての関係市町村に対する指導について

質問があり、知事から答弁。生駒議員から再質問があり、知事から答弁。次いで、

大内 良一議員(社会)から、

① 衛生行政に関し、老人医療の動向、各種検診の受診率向上方策、在宅の寝たきり者に対する訪問指導の充実

② 民生行政に関し、小規模通所授産施設の設置拡大

③ 大都市問題に関し、過密の弊害を未然に防止するための方策、札幌市の都市機能、札幌市を中心とする総合的広域的交通体系の確立パーク・アンド・ライド方式等の計画、共通運賃制度の導入の考え、都市環境に関連する河川景観の造成についての所見

④ 行政の文化化に関し、公共施設整備に当たっての文化性の導入推進策、言葉の行革の具体的な推進方策について

質問があり、知事から答弁の後、議案調査のため、3月9日は休会することに決定して、午後4時35分延会。

○3月10日（土） 午前10時12分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第96号を議題とし、一般質問を継続、

増井 貞一郎議員（自民）から、

- ① 農業問題に関し、肉用牛振興方策、経営の複合化の推進、低コスト肉用牛畜舎の建設、畜産振興資金供給事業に対する認識と活用、指定食肉安定価格決定に向けての対処、牛肉の自由化問題に対する取り組みと今後の対処
- ② 林業問題に関し、木材需要の長期展望及び製材業の構造改善並びに58年度の施策の実績と59年度計画、木材利用普及研修センターの建設、木材の需要拡大に関連しての持ち家建設資金貸付金の制度改善策、木造住宅の耐用年数、木造公営住宅の家賃算定方式の改正、道有林の役割、道有林経営の見通し、経営好転までの公益的機能の維持強化に必要な費用負担に対する所見について

質問があり、知事から答弁。増井議員から再質問があり、知事から答弁。次いで、

大平 盛雄議員（社会）から、

- ① 雇用対策に関し、季節労働者の雇用対策に対する基本姿勢、通年施工化技術研究協議会の活用など通年施工への取り組み、業界に対する指導方途、季節労働者給付金制度の活用に向けての対策、冬期の就労対策、身体障害者の雇用対策と法定雇用率未達成企業に対する対処方針、道自身として法定雇用率アップの決意
- ② 高等教育の振興に関し、大学設置審議会の中間報告に対する考えとその対応、第三セクター方式による高等教育機関の整備と誘致の見通し、今後における誘致運動の進め方、苫小牧市への大学誘致の必要性に対する所見と地元と一体となって運動を展開する決意
- ③ 苫東開発にかかわる諸問題に関し、いすゞ自動車の操業開始の見通し、地域経済への波及効果、地場企業の参入状況や今後の見通し、地場企業関連産業の育成課題、苫東基地内の埋蔵文化財の保存
- ④ 自然環境保全に関し、美々川流域の保全とその対象範囲並びに千歳川水路構想との関連、ウトナイ湖の水位低下を防ぐ水位保持構

想について

質問があり、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午前11時45分休憩、午後1時10分再開。次いで、

国本 康夫議員（自民）から、

- ① 青少年の健全育成対策に関し、青少年問題に対する基本的な認識、北海道青少年保護育成条例に基づく深夜外出の指導取締りと補導、同条例第16条による一般からの申出に対する処理状況とその実態、有害図書指定強化、ビデオテープなどの規制の考え、図書自動販売機の設置状況、図書自動販売機の届け出制及びマジックスクリーンの義務づけの検討、酒、たばこの自動販売機の利用規制、有害図書類の法規制の動向、北海道青少年問題協議会及び北海道児童福祉審議会の諮問事項と活動状況並びにこれら機関の弾力的運営と活性化
- ② 婦人の福祉と地位の向上に関し、北海道婦人行動計画と公約した施策との相違点、公約の北海道女性自立のためのプラン策定構想と現計画との相違点、この構想の具体化の時期、青少年婦人事務局の機構改革のあらましと基本的な考え方について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。国本議員から再質問があり、知事から答弁。次いで、

谷川 英雅議員（社会）から、

- ① 交通対策に関し、国鉄の分割・民営化、青函連絡船の存続及び地方バス路線維持費補助制度に対する見解
- ② サラ金問題に関し、社団法人北海道庶民金融業協会に対する補助金計上の趣旨、サラ金規制二法に基づく道の基本姿勢と取り組み、社会問題化している現象に対する認識、相談業務を行う団体等に対する助成についての見解
- ③ 水産加工問題に関し、水産加工の研究体制の整備に対する基本的な考え方について

質問があり、知事から答弁の後、議案調査のため、3月12日は休会することに決定し、午後2時15分延会。

○3月13日（火） 午前10時10分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第96号を議題とし、一般質問を継続、

平井 進議員（自民）から、

- ① 林業の活性化に関し、民有林の現状認識と今後の対策、総合的な造林推進策と59年度の具体策、造林、林道事業など予算減額の理由、人工造林の推進方針と今後の具体的な取り組み、人工林育成特別対策事業の成果と今後の方針、間伐の推進策、カラマツ六齢級の間伐助成の必要性と効果、森林組合の合併指導とその成果及び今後の推進策

- ② 農業問題に関し、産年別米の在庫量、本道の米の消費に占める道産米の位置づけ、59年の需給見通し、最近における道産米の流通と評価の実態、品種の選定と栽培技術指導、「キタヒカリ」の格上げ、野菜の作付動向、他府県の端境期における道産野菜の移出推進方策、農業基盤整備事業に伴う道費政策の位置き措置等について

質問があり、知事から答弁。平井議員から再質問、知事から答弁。次いで、

三沢 道男議員（社会）から、

- ① 林業対策に関し、木、森林に対する考え、森林の造成と緑の保全、森林の存在価値の普及啓蒙と植林運動などについての所信
- ② 農業問題に関し、北海道農業発展方策等の計画策定についての所見、酪農近代化計画と酪農経営、農協組織と農協法による指導の見解、飼料、肥料等生産コストの低減のための方策、農業団体等農協連合会の整理統合、再編の取り組みに対する見解、連合会に対する都道府県の検査権限拡大の要望、農業情報の収集と提供の具体策、地域格差の是正策

- ③ 福祉対策に関し、精神薄弱者のための就労の場づくりについて

質問があり、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午前11時39分休憩、午後1時37分再開。次いで、

伊達 忠一議員（道政）から、

- ① 福祉問題に関し、国保の保険料滞納者に対する保険証の不交付に対する見解、国保に対する道費補助金の配分に当たっての対処

- ② 石炭問題に関し、幌内炭鉱の出炭と資金の状況、道の支援と自助努力に対する見解、再建のための強力な指導体制

- ③ 滝里ダムに関し、用地補償基準の提示、代

替地確保の見通し、生活再建対策の取り組み、地域整備計画についての考え方と今後の取り組み

- ④ 教育問題に関し、教職員の協力体制、職員会議の現状認識とその指導について

質問があり、知事及び教育長から答弁。伊達議員から再質問、知事及び教育長から答弁。次いで、

柳谷 正一議員（公明）から、

- ① 水産行政に関し、国際漁業交流の基本的な考え方及び今後の取り組み、日本海漁業の振興対策に係るサクラマス資源の増大、日本海漁業振興の推進体制、海洋開発の範囲と今後の取り組み、国と地方の役割り分担、海洋開発のための高等教育機関のあり方と海洋大学の誘致

- ② 雇用問題に関し、雇用状況とその対応策、新規高卒者の就職対策と明年度の対策、職業訓練体制の整備拡充、高齢者の雇用延長策、婦人の雇用対策と職業紹介サービス体制の整備

- ③ テクノポリスの建設促進に関し、テクノポリス函館の企業誘致体制、工業技術センターの基本構想、運用開始までのスケジュール、試験研究機関との連携、道立試験研究機関のあり方

- ④ 福祉行政に関し、在宅福祉対策、高齢者福祉に係る啓発活動について

質問があり、知事から答弁。柳谷議員から再質問、知事から答弁。次いで、

綿貫 健輔議員（自民）から、

- ① 過密過疎対策に関し、人口、都市機能等が札幌市を中心とする道央に集積している現状と道央中心的発展に対する認識及び地方中核都市との機能分担、新総合計画における地域振興の理念、地方中核都市の発展を図るための取り組み

- ② 中小企業対策と商業対策に関し、中小企業問題の基本的認識と対処、中小企業金融対策、公約にある金融保証体制の拡充のための農協・漁協などとの協同関係、協調融資シンジケートの設置についての具体的な取り組み、地方中小企業育成の観点からの道の需用品購入、企業振興に関する補助金制度、本道貿易の振興と公約との関連について

質問があり、知事から答弁。綿貫議員から再質問があって、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時9分休憩、午後4時31分再開し直ちに延会。

○3月14日（水） 午後1時10分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第96号を議題とし、知事から3月13日の綿貫健輔議員（自民）の再質問に対する答弁の後、一般質問を継続、

吉野 之雄議員（社会）から、

- ① 職員の海外研修の充実、支庁の人事配置と機能の強化
- ② 農業問題に関し、北海道農業発展方策の具体化、本道農業が抱えている問題の対応策、農業基盤整備事業における受益農家負担の現状と対処、他用途利用米の基本的な考え方、農家の作付指導、当面对策の考え、米価要求との関連、転作麦の廃耕に対する指導
- ③ 水産問題に関し、韓国漁船に対する規制措置、日本海沿岸における環境保全
- ④ 教育問題に関し、青少年の非行問題解決のための家庭教育等の具体策について

質問があり、知事及び教育長から答弁。次いで、

神戸 典臣議員（自民）から、

- ① ウタリ対策に関し、第1次及び第2次ウタリ福祉対策についての評価、民族問題としてとらえた基本的な理念、政策に関する基本的な考え方、59年度予算における具体的な施策、ウタリ会館建設の見通し、ウタリ対策に関する道の組織機能の充実強化、新法制定の考え、アイヌ教育研究協議会における副読本の調査検討の内容と今後のアイヌ教育の指導
- ② 教育問題に関し、職業教育の必要性と推進計画、職業高校のあり方、職業教育への期待と体制整備、職業訓練校の入校状況、職業訓練校の再編整備、職業訓練短期大学の整備状況と今後のスケジュール、高等学校教育における職業高校の位置づけ、職業高校と専修学校の位置づけ、職業高校に目的意識を持った生徒を入学させるための魅力ある教育内容等の見解と今後の具体策、職業学科集合型モデル高校設置構想の内容と設置の見通し、北

海道産業教育審議会の建議に対するこれまでの検討状況と今後の取り組みについて

質問があり、知事及び教育長から答弁。神戸議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があり、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言があって、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午後3時25分休憩、午後3時54分再開。知事から休憩前の本会議における神戸議員の質問に対する補足答弁。次いで、

樫林 巖議員（社会）から、

- ① 特定不況地域対策と企業誘致に関し、特定地域振興指針の大綱と地域中小企業者に関する振興策、工業再配置促進法に基づく室蘭市の誘導地域指定、工業開発指導員制度の活用、北海道工鉱業開発促進条例改正案による室蘭市の工業団地指定、先端技術の導入、先端産業の誘致と雇用との関連
- ② 国際交流等の問題に関し、新千歳空港の国際空港化に向けての整備拡充、酪農の国際交流について

質問があり、知事から答弁があって、あらかじめ会議時間を延長し、次いで、

酒井 芳秀議員（自民）から、

- 観光レクリエーションの振興対策に関し、観光振興にかかわる計画の策定、地域の観光振興対策、広域観光開発計画策定事業の具体的構想、冬季観光レクリエーションの振興の具体的内容、空き缶散乱の現状認識と対処、既存道路沿線の並木保護と緑化推進の必要性、車粉問題におけるその対策と道民の理解と協力、59年度広報活動計画及び先進国の実情認識、北海道観光物産館の設置について
- 質問があり、知事から答弁。酒井議員から再質問、知事から答弁があって午後4時58分延会。

○3月15日（木） 午前10時18分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第96号を議題とし、一般質問を継続、

小野寺 勇議員（自民）から、

- ① 財政問題に関し、事務事業の見直しの経緯と処理状況、56年度以降の新規事業と59年度予算の新規補助金に係る時限設定、道庶民金

融業協会への補助金、貸付金制度と貸付金の整理統合、単年度貸付けの取り扱い、出資金に係る件数、総額及び出資目的達成等の場合の処置、各種調査費の取り扱い、全天候スタジアムの検討経過

- ② 行政改革に関し、林務署の統合と縮小、保健所の配置見直し、保育専門学院、工業試験場野幌分場等の廃止、道営競馬事業の公益団体等への経営移譲、行政管理室の機構・権限等の構想と機能発揮の考え、今後の行政改革の取り組みと第三者機関の設置について

質問があり、知事から答弁。小野寺議員から再質問、知事から答弁があって、高橋康之議員（自民）から、議事進行発言があり、午前10時58分休憩、午後1時25分再開し、知事から、休憩前の本会議における小野寺議員の再質問に対する補足答弁。次いで、

久田 恭弘議員（自民）から、

- ① エネルギー問題に関し、エネルギー事情に対する認識、発展計画におけるエネルギー安定供給の指標達成のための推進策、大気中の二酸化炭素濃度の増加についての認識と対処、原発についての認識、高レベル放射性廃棄物の処理、国の低レベル放射性廃棄物の処理処分方針及びスケジュール、石油代替エネルギーの調査研究内容と成果並びにこの成果に対する評価、今後の対処方法、公約にある代替エネルギー開発利用の具体的構想、具現の時期及びこれまでの調査研究との相違点、石油代替エネルギーの研究施設などに対する優遇策、省エネルギーの公約に関するエネルギーの長期的見通しと施策、59年度予算案における公約実現のための施策経費、ソーラーシステムなどの導入計画、省エネルギー住宅の建設、改良に対応できる住宅資金制度の改善、省エネルギー住宅などを建築した場合における税制面の措置
- ② 道政上の諸課題に関し、生活文化の振興に対する基本的な見解、生活文化振興基金の調査内容、59年度予算案の生活文化振興基金（仮称）調査費の調査目的と基金創設に向けての取り組み、基金設立の時期、一村一品運動の調査検討の内容、59年度からの施策内容、調査事例の具体的な取り組み内容、財政的な裏づけ、運動の進め方について

質問があり、知事から答弁。久田議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後2時27分休憩、午後3時17分再開。次いで、

岩本 允議員（自民）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、公約にある「古い北海道と訣別し、新しい北海道云々」の「古い」「新しい」の具体的な考え、自立と自立化の意味の相違、本道経済の自立化の考え、域際収支の手法と現状
- ② 新計画の策定に関し、発展計画の点検結果、新計画策定に至った経緯、全国総合開発計画における開発政策の動向、三全総のフォローアップ作業報告における本道開発上の重視すべき事項、計画策定のスケジュール、新計画と国の計画との関連、国民的合意を求めべき新計画の重要課題、開発庁の作業スケジュール、開発審議会での新計画策定の事前説明、市長会、町村会との事前協議、支庁別地域振興の方向と新計画のつながりについて
- 質問があり、知事から答弁。岩本議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後3時58分休憩、午後4時37分再開し、直ちに延会。

○3月16日（金） 午後1時31分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第96号を議題とし、一般質問を継続、知事から3月15日の本会議における岩本允議員（自民）の再質問に対する答弁。次いで、

小野 秀夫議員（道政）から、

- ① 産業政策に関し、当面の政策課題としての工業政策、中長期的な政策課題としての北海道産業構造高度化推進計画の策定、中小企業の振興育成対策、地場産業振興条例の制定、地場産業振興会館（仮称）の設営、イベントの開催等、メイド・イン・ホッカイドウ、バイ・ホッカイドウ運動の推進、研究開発型企業育成資金制度の創設の見解、中小企業の技術力強化と第三セクター方式によるセンターの設置、先端技術化促進の調査研究と体制強化、工鉱業開発促進条例の制定の趣旨と同条例の改正案についての考え方、工鉱業開発促進条例等同種の3条例を過疎不況等の地域開発条例として一本化する考え、企業誘致を強

くアピールした先端技術産業などの導入を図る新たな条例の制定及び地域開発振興と企業誘致促進とを条例上で両立させることについての所見、特定不況業種対策、不況地域などの産業政策、工鉱業開発促進条例による室蘭市の取り扱い

- ② 行財政問題に関し、公共料金の引き上げに当たっての考え方、臨時職員及び非常勤職員にかかわる人件費の節減、臨時職員などについての地公法上の解釈、勧奨退職に伴う非常勤嘱託としての任用の是非

- ③ エネルギー問題に関し、核燃料サイクルの確立、放射性廃棄物の処理、エネルギー対策調査費の調査対象拡大について

質問があり、知事から答弁。小野議員から再質問、知事から答弁があって、同議員から再々質問の後、議事進行の都合により、午後3時14分休憩、午後4時17分再開。あらかじめ会議時間を延長のうえ、知事から答弁。次いで、

土屋 良三議員（自民）から、

- ① 福祉行政に関し、福祉施策、福祉総合計画と前計画との関連、作業の手順等、高齢者問題研究会（仮称）の設置目的、性格及び財団法人とした理由、在宅老人に対する財産を担保にした有料サービス提供と財産管理の代行についての考え
- ② 医療行政に関し、道立病院の経営と市町村立病院の経営健全化、保健婦・看護婦の養成確保、母子家庭等医療給付事業の対象者の拡大について

質問があり、知事から答弁。土屋議員から再質問、知事から答弁があって、同議員から再々質問、知事から答弁があり、午後4時57分延会。

○3月17日（土） 午前10時36分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第97号を議題とし、知事から提案説明の後、日程第1の議案第97号にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第96号を一括議題とし、一般質問を継続、

松崎 義雄議員（自民）から、

- 水産問題に関し、漁船漁業の再編成の具体的な進め方、負債整理対策、再編整備に伴う漁協経営への影響、日本海漁業振興対策の具

体的内容、日本海地域漁業振興対策協議会の機能、温泉熱の利用による種苗生産などの積極的な取り組み、日本海対策についての取り組み、公約実現に向けての取り組み、秋サケ親魚の捕獲体制について

質問があり、知事から答弁。松崎議員（自民）から再質問があり、知事から答弁。次いで、

山口 真人議員（自民）から、

- ① 石狩湾新港の開発に関し、海岸道路と中央水路の掘り込みとの関連、海岸道路の今後の取り組み
- ② 中小企業金融に関し、信用保証協会に対する道の強力な指導性の発揮と国に対する信用保険制度の拡充要請
- ③ 観光行政に係る知事公約に関し、小樽市の観光振興の基本的な方策
- ④ 土木行政に関し、本年度土木事業の執行に対する考え方と年間の発注計画、地域への配分についての考え方、地元中小建設業者の受注機会の確保、工事の早期発注、適期施行に関連しての通年施工対策、公共事業の投資効果に関連する資料の収集についての考え方、高速道路建設工事の進め方、日本道路公団に対する道の協力体制、高速道路の建設促進運動の拡充強化、道内建設業者の受注機会の拡大について

質問があり、知事から答弁。山口議員から再質問があり、知事から答弁の後、議事進行の都合により、午前11時43分休憩、午後1時17分再開。次いで、

桜井 外治議員（自民）から、

- ① 第44回国民体育大会に関し、国体に対する認識と基本姿勢、開催準備事業の年次スケジュール、国体関連競技施設の整備状況と今後の見通し、市町村の整備する競技施設に対する助成策、予算に不足を生じた場合の措置、競技力向上推進本部に設置する事務局の機能及び組織体制、高校総体と国体の競技力向上との関連、国体のテーマ、スローガン及びシンボルマークなど道民運動の展開
- ② 教育行政に関し、本道における達成度調査実施の実態、調査の内容と性格についての見解、道教委の北教組との団体交渉における見解に対する真意と学校現場混乱の責任、この

調査に対する道教委の対応についての所信、調査実施に対する校長判断の是非、学力テスト実施問題について校長の団体交渉当事者能力の有無、北教組支部や分会を団体交渉当事者とするものの地公法上の問題点、調査実施における道教委の責任等の見解について

質問があり、知事及び教育長から答弁。桜井議員から再質問があり、知事及び教育長から答弁の後、同議員から再々質問があり、議事進行の都合により、午後2時6分休憩、午後2時43分再開し、議案調査のため3月19日は休会することに決定して、午後2時44分延会。

○3月21日（水） 午前11時13分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第97号を議題とし、教育長から3月17日の桜井外治議員（自民）の再々質問に対する答弁の後、一般質問を継続、

青山 章議員（自民）から、

○ 農業問題に関し、当面する農業振興方策と予算編成に当たっての決意、59年の営農指導の取り組みについての基本方針、他用途利用米についての助成状況、作付及び生産見込みの状況、てん菜に対する転作奨励補助金の加算の運用、第3次土地改良長期計画の達成と農家負担の軽減、農業後継者の育成確保策について

質問があり、知事から答弁。青山議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時1分休憩、午後1時26分再開。次いで、

吉川 貴盛議員（自民）から、

① 道行財政の改革等に関し、組織機構についての認識、課内室や部内局の設置の必要性、今回の改革の基本的視点、財政改革、審議室の見直し、行政改革に関連して臨調の基本理念の受けとめ方、公約に関連して行政の効率化とむだの排除、市町村への権限移譲と財政負担の実施時期、定数削減、事務事業の民間委託及び民間意見の導入の考え

② 教育問題に関し、主任制度のあり方、主任手当支給の現状と返還、供託の実態、主任の命課の実態、主任の命課は管理運営事項であり、この拒否等職務義務違反に対する処分等

の見解、主任手当返還に対する対応について質問があり、知事及び教育長から答弁。吉川議員から再質問があって、議事進行の都合により、午後2時7分休憩、午後3時35分再開し、直ちに延会。

○3月22日（木） 午後4時37分開議、諸般の報告の後、あらかじめ会議時間を延長し、

日程第1 議案第1号ないし第97号を議題とし、一般質問を継続、知事及び教育長から3月21日の本会議における吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁。同議員から再々質問、知事及び教育長から答弁があって、午後5時延会。

○3月23日（金） 午前10時58分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第97号を議題とし、一般質問を継続、

中川 義雄議員（自民）から、

① ニューメディアの問題に関し、情報化に対応していく全体的な構想と地域INSの位置づけ、産業構造の高度化と農業へのINSの先行的な導入との関連、農業の情報化と他の産業振興との関係、二次、三次産業に関する情報化の対応方針、新しい通信手段のうちのデータ通信、コンピューターネットワークに力点を置く考え、データベースの整備、都市型の有線テレビ導入の動き、道政としての誘導策及び新しい通信手段の機能分担の基本的考え、郵政、通産両省の構想に対する推進体制、国の構想におけるモデル地域推薦の基本的な考え方と指定の見込み、モデル地域の事業に対する政策的、財政的な援助等、本道産業の情報通信革命に対応する事業とこれら予算の道予算に占めるウェイト、情報化に対応する上での現状認識、情報化関連予算の一体的検討と担当部局間の事業内容調整、新計画における情報化問題への取り組み

② 経済自立への政策に関し、総合商社機能に対する現状認識と見解、総合商社機能を持つ公的機関の設立、産業振興公社の設立の見解

③ 主任手当に係る予算の執行に関し、主任手当の法律的な意味、主任手当の請求権放棄の可否、主任手当の返還問題にかかわっての供

託金、返還金にかかわっての使途不明金の認識、主任手当の予算措置、北教組の返還闘争等の運動方針に対する基本的な考え方について

質問があり、知事から答弁、中川議員から再質問、知事から答弁、同議員から再々質問があり、知事から答弁があって、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、中川議員から発言があり、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時58分休憩、午後2時26分再開。次いで、

坂下 堯議員（無所属）から、

- ① 政令都市と道政の関連について、札幌市との連携、新計画における札幌市の位置づけや市町村の長期計画との調整、全道民のための広報、広聴活動の推進
- ② 道政施策の方向に関し、道と市町村との機能分担
- ③ 本道経済の自立対策に関し、地場企業の振興と育成についての基本的姿勢
- ④ 農業問題に関し、第三期水田利用再編対策と米の生産目標、他用途利用米の生産に当たっての共補償、事業推進の基本的な考え方と対応、他用途米の活用、生乳生産の拡大、負債整理対象酪農家等に対する具体的振興対策、宗谷工場の配乳、牛乳の共販の指導の必要性
- ⑤ 水産問題に関し、秋サケ定置漁業権の更新に当たって考え方と進捗状況、日本海地域及び道南地域に対する配慮について

質問があり、知事から答弁。坂下議員から再質問があり、知事から答弁。次いで、

大橋 晃議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、自衛隊幹部との懇談会の目的と内容、トマホーク配備艦船の寄港反対の決意、小樽運河問題に対する真意
- ② 開発・産業問題に関し、苫東基地開発段階計画の見直しの手続き、苫東基地の性格、臨空型工業の段階計画への組み入れ、苫東関連の住宅三団地の経緯と今後の見通し、工鉱業開発促進条例改正の目的及び内容
- ③ 暮らしと福祉対策に関し、高校授業料の値上げ撤回の考え、国保財政健全化対策費補助金の配分基準
- ④ 教育問題に関し、教育臨調の推進反対を意思表示する考え、私学助成、道立高校の校舎

改築の今後の方向、高校のプールの整備について

質問があり、知事及び教育長から答弁。大橋議員から再質問、知事から答弁、同議員から再々質問、知事から答弁があり、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、大橋議員から発言があり、知事から答弁があって質疑並びに質問を終結。次いで、

木本由孝議員（自民）から、予算に関する案件について、本議会に52人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これらの案件を付託の上、審査されたいとの動議を提出、賛成があって動議成立、これを諮って異議なく決定。次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任のうえ、議案第1号ないし第17号、第20号、第65号、第67号ないし第83号、第88号ないし第94号及び第96号は予算特別委員会に、議案第84号は総合開発調査特別委員会に付託することに決定。次に、残余の案件について議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

○予算特別委員（52人）

遠藤 常二（社会）	大内 良一（社会）
相沢 武彦（公明）	大野 新生（道政）
伊達 忠一（道政）	大野 忠義（自民）
小野寺 勇（自民）	木戸浦隆一（自民）
国本 康夫（自民）	操上 良宏（自民）
酒井 芳秀（自民）	高橋 一史（自民）
出村 勝彦（自民）	増井貞一郎（自民）
浅野 俊一（公明）	大平 盛雄（社会）
柏倉 勝雄（社会）	菊地 芳郎（社会）
高橋 庸（社会）	谷川 英雅（社会）
三沢 道男（社会）	一野坪 勉（社会）
檜林 巖（社会）	神本 三也（社会）
工藤 啓二（公明）	青山 章（自民）
伊藤 弘（自民）	岩本 允（自民）
小田部善治（自民）	木本 由孝（自民）
佐々木行雄（自民）	土屋 良三（自民）
橋 浪蔵（自民）	久田 恭弘（自民）
松崎 義雄（自民）	石山 直行（自民）
伊藤 豪（自民）	岩田 徳弥（自民）
川口 常人（自民）	寺崎 政朝（自民）
小野 秀夫（道政）	長岡 寅雄（社会）
萩上 元春（社会）	吉野 之雄（社会）
岩崎 守男（社会）	舟山 広治（社会）

西村 慎一（道政） 野村 權作（自民）
古川 靖晃（自民） 宇野 眞平（自民）
大平 秀雄（自民） 若狭 靖（自民）

○ 3月24日（土） 午後2時25分開議、諸般の報告の後、

日程第1 特別委員 補欠選任の件を議題とし、酒井芳秀石炭対策特別委員（自民）並びに中崎昭一公害対策特別委員（自民）の辞任を許可したことに伴い議長指名により中崎昭一議員（自民）を石炭対策特別委員に、酒井芳秀議員（自民）を公害対策特別委員に補欠選任することに決定。

日程第2 議案第88号ないし第97号を議題とし、石山直行予算特別委員長（自民）から、議案第88号ないし第94号及び第97号について、川口常人総務委員長（自民）から、議案第95号について、古川靖晃建設委員長（自民）から、議案第96号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について 報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から、議案第88号及び第91号に関する反対討論があつて討論終結。

次いで、採決に入り、日程第2のうち議案第88号及び第91号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。

次に、日程第2のうち、議案第89号、第90号及び第92号ないし第97号を問題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決。

次に、各委員会付託議案審査のため、3月26日は休会することに決定して、午後2時36分散会。

○ 3月27日（火） 午後4時27分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を3月30日まで3日間延長することをはかり、異議なく決定の後、各委員会付託議案審査のため3月28日から3月29日まで休会することに決定して午後4時29分散会。

○ 3月30日（金） 午後4時44分開議、諸般の報告の後、あらかじめ会議時間を延長し、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を

3月31日まで1日間延長することを諮り、異議なく決定し、午後4時46分散会。

○ 3月31日（土） 午後4時46分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時47分休憩、午後9時53分再開。諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第87号を議題とし、石山直行予算特別委員長（自民）から、議案第1号ないし第17号、第20号、第65号及び第67号ないし第83号について、川口常人総務委員長（自民）から、議案第18号、第19号、第21号ないし第26号及び第64号について、星野健三厚生委員長（社会）から、議案第27号ないし第37号及び第85号について、湯本芳志商工労働委員長（社会）から、議案第38号ないし第40号及び第66号について、寺崎政朝農務委員長（自民）から、議案第41号ないし第44号について、古川靖晃建設委員長（自民）から、議案第45号ないし第50号、第86号及び第87号について、中崎昭一水産委員長（自民）から、議案第51号及び第52号について、岩田徳弥文教林務委員長（自民）から、議案第53号ないし第63号について、笹浪幸男総合開発調査特別委員長（自民）から、議案第84号について、それぞれ各委員会における審査の経過と結果についての報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から、議案第1号、第10号、第15号ないし第19号、第23号、第26号、第27号、第29号、第31号、第32号、第34号、第36号ないし第44号、第47号、第49号ないし第56号、第60号ないし第63号、第65号、第68号、第74号、第79号、第84号及び第85号に関する反対討論があつて討論終結。次いで、採決に入り、日程第1のうち、議案第1号、第10号、第15号ないし第19号、第23号、第26号、第27号、第29号、第31号、第32号、第34号、第36号ないし第44号、第47号、第49号ないし第56号、第60号ないし第63号、第65号、第68号、第74号、第79号、第84号及び第85号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり、議案第85号は同意議決、その他の議案はすべて原案のとおり可決。次に、議案第2号ないし第9号、第11号ないし第14号、第20号ないし第22号、第24号、第25号、第28号、第

30号、第33号、第35号、第45号、第46号、第48号、第57号ないし第59号、第64号、第66号、第67号、第69号ないし第73号、第75号ないし第78号、第80号ないし第83号、第86号及び第87号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり原案可決。次いで、

日程第2 議案第98号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、異議なく、原案のとおり同意議決。次に、

日程第3 決議案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第4 意見案第2号ないし第6号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第5 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、異議なく委員会決定（採択2件）のとおり採決と決定。次いで、

閉会中報告第2号継続審査の件について、決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。

次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに石炭対策特別委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、前会より継続審査中の報告第2号を除きすべて議了。三上勇議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後10時50分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、さきに御報告申し上げました先議案件を除く議案第1号ないし第17号、第20号、第65号及び第67号ないし第83号の36件につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

これらの議案の審査方法につきましては、去る3月23日の委員会におきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに3分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、直ちに分科正

・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に橋浪藏君、副委員長に榎林巖君、第2分科会は、委員長に萩上元春君、副委員長に木本由孝君、第3分科会は、委員長に岩本允君、副委員長に一野坪勉君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、26日から各部所管の審査に入り、30日をもって一切の質疑を終了し、同日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、昭和59年度一般会計及び特別会計を合わせ、総額1兆7,485億2,500万円余に及ぶ予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑応答が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして、昨日から総括質疑を行い、先程付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なるものを申し上げますと、

道道小樽臨港線にかかわる諸問題について

祝祭日について

人事管理について

政教分離について

法人道民税のうち、標準税率課税対象の拡大について

財政の中期見通しについて

工鉱業開発促進条例の改正について

石狩町、当別町に係る境界未定区域の問題について
などであります。

質疑終結後、各会派代表者間におきまして、各案件について意見の調査を図りました結果、いずれも意見の一致を見、先程の委員会におきまして、議案第1号ないし第17号、第20号、第65号及び第67号ないし第83号の各案件は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号につきましては、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

附帯意見

1. 教育業務連絡指導手当(いわゆる主任手当)については、教職員団体が本制度の実施に反対し、請求権の放棄、手当の返上、さらには供託を行うなど、教育の現場に混乱を与え、道民に多大な迷惑をかけ、不信感を与えている。

よって、知事は、この予算の執行に当たって、制度の目的に沿って適正に運用されるよう速やかに問題解決のための最大限の努力をすること。

1. さきの大戦等において、とうとくも祖国に殉じた英霊は全道で6万3,000余柱に及び、その遺族は7万人を数えている。これら戦没者に対する慰霊の行事は、各界関係者列席のもとに毎年厳粛にとり行われているところである。

よって、知事は、遺族の心情を尊重して、戦野に没した英霊の慰霊に誠意を持って行動すべきであり、予算の執行と行政の推進に当たっては、議会での審議の経緯を尊重し、憲法第20条の信教の自由を侵害することのないよう十分配慮すべきである。

1. 都市計画街路事業3・2・4臨港線(いわゆる道道小樽臨港線)の建設工事は、小樽市はもとより、道民の生活、産業の進展にとってきわめて重要であるので、当該事業の早期完成と、関連する下水道事業並びに公害防止事業など、その影響を勘案し、昭和59年度中に当該工程を完了すること。

1. 経済的に生計の自立、維持が困難な環境下にある道内の母子家庭世帯の児童等の健全なる育成を図るため、従前、中学生までを給付対象としていた医療費給付事業の範囲を高校生まで拡大する措置をとるべきである。

1. 持家建設促進特別対策資金貸付金については、道内の景気浮揚と木材需要の拡大に資するため、昭和59年度以降3カ年にわたり、新規に貸付する者に対しては貸付限度額を引き上げるとともに、償還期間を延長すべきである。

なお、貸付限度額の引き上げに伴い、融資枠に不足を来すことのないよう必要に応じ原資について措置すべきである。

1. 国の59年度税制改正に伴い、法人道民税は

均等割、法人税制ともに増税されることとなった。

道においては、昭和51年度以降、時限措置として法人道民税については、いわゆる制限税率をとり、超過課税を行ってきた。

本道は全国でも最も不況地域と言われ、この中で、特に中小企業の経営はきわめて苦難の時代にあるときだけに、たび重なる法人道民税に対する増税措置は重苦しい圧迫感となっている。

こうした実態から、道として、中小企業の経営安定とその振興対策は緊急の政策課題であるとの観点から、道税条例附則第15条に規定する超過課税の適用を除外する範囲を拡大する措置をとるべきである。

1. 今後の国及び地方財政はきわめて厳しいものと予測されるため、道財政の運営においては、これまで以上に経費の節減、合理化を図るとともに、中長期を見通した財政運営によって健全財政の維持に努めるべきである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第1回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託 委員会	議決月日	議事結果
2. 24	1	昭和59年度北海道一般会計予算	予算特別	3. 31	原案可決
同	2	昭和59年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計予算	同	同	同
同	3	昭和59年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	4	昭和59年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	5	昭和59年度北海道小児総合保健センター事業特別会計予算	同	同	同
同	6	昭和59年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	7	昭和59年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	8	昭和59年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	9	昭和59年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	10	昭和59年度北海道公共下水道事業特別会計予算	同	同	同
同	11	昭和59年度北海道地方競馬特別会計予算	同	同	同
同	12	昭和59年度北海道病院事業会計予算	同	同	同
同	13	昭和59年度北海道有林野事業会計予算	同	同	同
同	14	昭和59年度北海道北広島団地開発事業会計予算	同	同	同
同	15	昭和59年度北海道工業団地開発事業会計予算	同	同	同
同	16	昭和59年度北海道電気事業会計予算	同	同	同
同	17	昭和59年度北海道工業用水事業会計予算	同	同	同
同	18	札幌医科大学条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	19	札幌医科大学衛生短期大学部条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	20	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	21	北海道職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	22	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	23	北海道立青函トンネル記念館条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	24	北海道危険動物飼養規制条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	25	北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	26	北海道立開拓記念館条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	27	北海道立社会福祉総合センター条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	28	北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	29	北海道立保育専門学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	30	北海道病院事業条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	31	北海道委託衛生試験条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	32	北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 24	33	北海道立診療所条例の一部を改正する条例案	厚生	3. 31	原案可決
同	34	北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	35	公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	37	かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	38	北海道立工業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	39	北海道工業業開発促進条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	40	北海道立地下資源調査所手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	41	北海道立産業共進会場条例の一部を改正する条例案	農務	同	同
同	42	北海道立農業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	43	北海道種馬鈴しよ生産販売取締条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	44	北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	45	北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	建設	同	同
同	46	北海道普通河川及び堤防敷地条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	47	北海道沿岸水域の工事取締条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	48	北海道建築士法施行条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	49	北海道立寒地建築研究所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	50	北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	51	北海道立水産試験場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例案	水産	同	同
同	52	北海道立水産孵化場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	53	北海道立林業試験場条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	54	北海道立林産試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	55	北海道木材業者製材業者合板及び単板業者登録条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	56	北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	57	北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	58	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	59	北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	60	北海道立青年の家条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	61	北海道立少年の家条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	62	北海道立美術館使用料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	63	北海道立体育センター条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	64	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	65	北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	66	北海道公営企業条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	67	財団法人北方圏交流基金に対する出資の件	予算特別	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 24	68	総合研究開発機構に対する出資の件	予算特別	3. 31	原案可決
同	69	日本近距離航空株式会社に対する出資の件	同	同	同
同	70	財団法人北海道高齢者問題研究協会（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	71	財団法人札幌がんセミナーに対する出資の件	同	同	同
同	72	石狩東部広域水道企業団に対する出資の件	同	同	同
同	73	北海道信用保証協会に対する出資の件	同	同	同
同	74	財団法人テクノボリス函館技術振興協会（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	75	北海道農業協同組合中央会（経営改善特別対策基金）に対する出資の件	同	同	同
同	76	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	77	社団法人北海道畜産物価格安定基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	78	財団法人札幌勤労者職業福祉センター（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	79	財団法人不動産取引公正審査機構（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	80	日本下水道事業団に対する出資の件	同	同	同
同	81	中央漁業信用基金に対する出資の件	同	同	同
同	82	財団法人北海道学校保健会に対する出資の件	同	同	同
同	83	宝くじの発売に関する件	同	同	同
同	84	滝里ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件	総合特別 開発	同	同
同	85	空知北部地域広域的水道整備計画を定めることにつき同意を求める件	厚生	同	同意議決
同	86	財産の処分（建物・釧路市美原）に関する件	建設	同	原案可決
同	87	財産の処分（建物・留萌市沖見町）に関する件	同	同	同
3. 6	88	昭和58年度北海道一般会計補正予算（第6号）	予算特別	3. 24	同
同	89	昭和58年度北海道有林野事業会計補正予算（第4号）	同	同	同
同	90	昭和58年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	91	昭和58年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	92	昭和58年度北海道電気事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	93	昭和58年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	94	昭和58年度北海道有料道路事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	95	財産の処分（土地・勇払郡厚真町字浜厚真ほか）に関する件	総務	同	同
同	96	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	建設	同	同
3. 17	97	昭和58年度北海道一般会計補正予算（第7号）	予算特別	同	同
3. 31	98	北海道出納長の選任につき同意を求める件		3. 31	同意議決

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 24	1	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、2月2日2件、2月6日6件、2月16日1件専決処分）			報告のみ

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
58.12.15	2	昭和57年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	59.3.31	継続審査

第1回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
3.31	1	シートベルト着用に関する決議	川口常人議員ほか13人	3.31	原案可決	総 務

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
3.6	1	昭和59年度畜産物価格等に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか12人	3.6	原案可決	農 務
3.31	2	国鉄ローカル線の確保及び地方割増運賃制度導入撤回に関する要望意見書	川口常人議員ほか13人	3.31	同	総 務
同	3	シートベルト着用の法制化を求める要望意見書	同	同	同	同
同	4	青少年の非行防止に関する要望意見書	星野健三議員ほか26人	同	同	厚生・ 文教・ 林務
同	5	使用済み乾電池の処理対策に関する要望意見書	星野健三議員ほか12人	同	同	厚 生
同	6	食品添加物の規制に関する要望意見書	同	同	同	同

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

決 議 案

決議案第1号

(昭和59年 1 定
川口常任議員ほか13人提出<総務>
昭和59年 3 月31日 原案可決)

シートベルト着用に関する決議

悲惨な交通事故を防止し、安全で快適な住みよい郷土をつくることは、570万人全道民の願いである。

しかしながらここ数年、道内における交通事故は急速に増勢に転じ、なかでも死者数は、9年連続全国一という不名誉な記録を続けている。

交通事故の災禍から尊い道民の生命を守ることこそ当面する重要課題である。シートベルトの着用は、道民の安全運転意識を高めるとともに、事故時の乗員保護に極めて有効かつ適切な方策と考える。

よって、本議会は、全道民とともにシートベルト着用運動を強力に展開することを宣言する。

右決議する。

昭和 年 月 日

北 海 道 議 会

意 見 案

意見案第1号

(昭和59年 1 定
寺崎政朝議員ほか12人提出<農務>
昭和59年 3 月 6 日 原案可決)

昭和59年度畜産物価格等に関する要望意見書

本道農業は、地域経済の重要な基幹産業として、また、我が国最大の食糧供給基地としての役割を一層高めており、生産性の高い経営の確立をめざし、関係者こそって努力を重ねているところである。

しかしながら、本道酪農・畜産は、これまでの投資に要した借入金の重圧等により、経営をとりまく環境は依然として厳しいものがあり、加えて牛肉の輸入自由化等に対する圧力が強まるなど深刻な局面に立たされている。

したがって、国においては、本道の酪農・畜産が当面するこれらの諸問題を早期に解決し、健全な発展が図られるよう左記事項の実現について強く要望する。

記

1. 加工原料乳保証価格の設定について

加工原料乳保証価格については、本道の酪農経営の厳しい実態を十分勘案し、今後の経営安定が期せられるよう適切に設定すること。

2. 指定食肉安定価格の設定について

指定食肉安定価格については、本道の畜産経営の厳しい実態を十分勘案し、適切に設定すること。

3. 加工原料乳限度数量の拡大について

加工原料乳限度数量については、乳製品需給を的確に把握し、国内自給率を高める観点から枠の拡大を図るとともに、その配分に当たっては、加工原料乳を主体とする本道酪農の役割を十分勘案すること。

4. 酪農経営負債整理資金の融資枠の確保について

昭和56年度から実施している酪農経営負債整理対策の効果的な推進を図るため、資金需要の実態を踏まえ、必要な融資枠を確保すること。

5. 国産生乳の需要拡大について

国産生乳の需要拡大を図るため、生乳需給調整対策を継続するとともに、国産ナチュラルチーズの安定的な振興方策を実現すること。

6. 肉用牛繁殖農家の経営安定について

肉専用子牛価格が低迷していることにかんがみ、繁殖農家の経営の安定を図るため、子牛生産拡大奨励事業等を継続実施するとともに、肉用子牛価格安定融資強化事業を拡充すること。

7. 牛肉の低コスト生産の推進について

牛肉の低コスト生産を推進するため、肉用牛経済肥育普及促進事業を拡充強化すること。

8. 大衆牛肉の取引規格の設定について

赤肉志向の高まりなど、消費者のニーズに即応し、牛肉の生産流通の合理化を促進するため、乳用種などの大衆牛肉を適正に評価する取引規格を設定すること。

9. 畜産物の輸入抑制について

本道農業の重要な柱として肉用牛生産に積極的に取り組んでいる実情にかんがみ、牛肉の輸入は国内生産の不足分に限るという原則を堅持すること。

また、乳製品の輸入については、現行の規制措置を堅持すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣
厚生大臣、農林水産大臣} 各通

意見案第2号

(昭和59年 1 定
川口常任議員ほか13人提出<総務>
昭和59年3月31日 原案可決)

国鉄ローカル線の確保及び地方割増運賃制度
導入撤回に関する要望意見書

国鉄は、一昨年、特定地方交通線の第2次対象路線として、北海道においては松前線など14線区を選定し、運輸省に申請、この選定申請を受けた運輸省は、過般、知事に対し、意見書の提出を求めてきている。

本道の特定地方交通線は、長大路線や石炭輸送路線など主要な鉄道網を形成しており、その廃止は、沿線地域の住民生活や産業経済はもとより、今後における本道の発展に大きな影

響を及ぼすものである。

また、本道は、厳しい自然条件下におかれていて、人口や産業の集積も不十分であり、今後の開発に多くをまつ地域であるが、このような地域に収支採算面のみを重視した現在の特定地方交通線の廃止基準を全国一率に適用することは、国土政策の根幹を見失うものである。

さらに、国鉄は、去る2月3日、地方割増運賃制度を導入した運賃の値上げ申請を行ったが、これは、地方交通線に過大な運賃を課すもので、沿線地域の住民生活や産業経済に深刻な影響を与えるばかりでなく、その増収分は全国で50億円程度と国鉄赤字の解消に大きく寄与するものではないと考える。

よって、国鉄及び政府においては、本道の実情を十分勘案し、本道における国鉄特定地方交通線を確保するとともに、今回の地方割増運賃制度を導入しないよう強く要望する。

右地方自治第99条第2項の規定より提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、運輸大臣
行政管理庁長官、北海道開発庁長官} 各通

意見案第3号

(昭和59年 1定
川口常任議員ほか13人提出<総務>)
昭和59年3月31日 原案可決

シートベルト着用の法制化を求める要望意見書

交通事故の未然防止を図り、安全で快適な交通社会を実現することは、すべての国民の願いである。

しかし、近年、交通事故は再び増加傾向に転じ、死者数は全国で年間1万人に迫る勢いがあり、まことに憂慮すべき実態となっている。

このような悲惨な事故の減少を図るためには、運転者の安全意識を高め、事故時の乗員保護に極めて有効なシートベルトの着用義務を課し、その徹底を図る必要があると考える。

よって、政府におかれては、シートベルトの着用義務化のため、速やかに関係法令の改正を図られるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、運輸大臣
総理府総務長官、国家公安委員会委員長} 各通

意見案第4号

(昭和59年 1定
星野健三議員ほか26人提出<厚生・文教・林務>)
昭和59年3月31日 原案可決

青少年の非行防止に関する要望意見書

近年、青少年の非行は、激増の一途をたどり、低年齢化、一般化、粗暴化などの傾向を示し、戦後のピークを形成していることは、誠に憂慮すべきことである。

このような青少年の非行の原因には、様々な背景があり、これを防止するため、地域社会、

家庭、学校が一体となって積極的に活動を展開することが望まれている。

よって国においては、次代を担う青少年の非行防止と健全育成のため、豊かな情操を養い、健やかな成長を遂げることが出来るよう、左記の事項について、早急な実現を図られるよう要望する。

記

1. 学校においては、児童生徒の能力と適性に応じ、一人ひとりの自己実現が達成されるよう、諸施策の充実を図ること。
2. 地域ぐるみのレクリエーションやスポーツなどの青少年の健全育成活動の啓発及び推進を図ること。
3. 有害出版物については、強く規制するよう措置すること。
右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、法務大臣、大蔵大臣
文部大臣、厚生大臣、労働大臣
総理府総務長官、国家公安委員会委員長 } 各通

意見案第5号

(昭和59年 1 定
星野健三議員ほか12人提出<厚生>
昭和59年3月31日 原案可決)

使用済み乾電池の処理対策に関する要望意見書

水銀を含む使用済み乾電池の処理が、今日大きな社会問題に発展している。

乾電池の使用量は、近年激増し、57年には、マンガン電池、アルカリ電池、水銀電池などを含めて約14億個が国内に流通し、今後も増加が続くものと推測されている。

一方で、乾電池に含まれる水銀量をみると、一昨年では、55トンにも達している。

これらの乾電池は、使用後、主として一般のゴミと共に廃棄され、焼却や埋め立てなどの方法により処理されているが、焼却の際には、水銀を含むガスが排出され、埋め立ての場合は、土壌への環境汚染が懸念されることから、水銀を含む使用済み乾電池の処理方法の確立などが重要な課題であると認識している。

このような中で、日本電池・器具工業会は、厚生省、通産省の要請を受け、当面の対応策として、使用済み乾電池の自主回収の強化や代替製品の開発促進などに取り組んでいるが、自主回収の対象乾電池が一部のものに限定されていたり、代替製品の開発にもなお時間を要するなど、必ずしも十分なものとは言えない。

また、一部の自治体では、使用済み乾電池を独自に回収するなどの対策を推進しているが、その処理処分にかかる対策を確立するには至っていない。

よって、国においては、問題の重大性に鑑み、使用済み乾電池の最終処理を含む対応策について、日本電池・器具工業会を指導するとともに、処理体制の確立を図り、環境汚染の防止に必要な措置を講ぜられるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、厚生大臣 } 各通
通商産業大臣、環境庁長官 }

意見案第 6 号

(昭和59年 1 定
星野健三議員ほか12人提出＜厚生＞)
昭和59年 3 月31日 原案可決

食品添加物の規制に関する要望意見書

国民の摂取する食品に含まれる食品添加物は、多種類に及んでいる。

食品の衛生及び安全の確保は、重要な課題であり、従って、食品添加物に対する国民の関心も高まりを見せている。

よって、政府におかれては、国民の健康確保のため、食品添加物の指定にあたっては、「疑わしきは指定せず」という方針を堅持し、慎重なる取り組みをされるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、厚生大臣 } 各通
農林水産大臣 }

請 願 ・ 陳 情

① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審 査 結 果
25	獣医師の待遇等改善に関する件	社団法人 北海道獣医師会 会長 山下 伸市	総 務	継続審査
26	同	同	厚生	採 択
27	建設・季節労働者の雇用安定に関する件	地元で働く仕事と90日支給復活を要求する北海道連絡会 代表 山科 喜一	商工労働	継続審査
28	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	北海道統一戦線促進労働組合 懇談会 代表 中野 募	総 務	同
29	同	同	厚生	同
30	道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件	北海道統一戦線促進労働組合 懇談会 代表 中野 募	商工労働	同
31	同	同	文教林務	同
32	同	同	建 設	同
33	同	同	石炭対策	同
34	母性保護を拡充し、実効ある男女雇用平等法を制定するよう国に意見書の提出を求める件	第74回国際婦人デー実行委員会 実行委員長 三浦章子ほか1人	商工労働	同
35	父母負担の軽減を求め、道立高校の授業料等道の各種公共料金値上げ反対に関する件	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 斉藤 敏夫	文教林務	同
36	同	同	厚生	同
37	高校授業料をはじめ各種使用料・手数料など公共料金値上げ反対に関する件	くらしと権利を守る諸要求貫徹北海道実行委員会 委員長 藤田新一ほか2人	文教林務	同
38	同	同	厚生	同
39	男女雇用平等法の制定に関する件	日本婦人会議北海道本部 議長 香取 柳子	商工労働	同
40	「私たちの求める男女雇用平等法の法制化を実現するよう」国に意見書の提出を求める件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	同	同
41	北海道農業の基盤確立と水田復元対策推進に関する件	稲作農業を守る会 会長 酒井金作ほか1人	農 務	同
42	国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件	全日本国立医療労働組合北海道 地方協議会 議長 八田 克弘	厚生	同
43	食生活の安全を確保するために、食品添加物に関し意見書を求める件	食品添加物の規制緩和に反対し、食品衛生行政の充実を求める北海道実行委員会常任委員 北海道生活協同組合連合会 会長理事岡田義雄ほか3人	同	採 択
44	広尾町の中小企業と、季節労働者のくらしと営業を守るために、適切な施策を求める件	地元で働く仕事と90日復活を求める広尾連絡会 代表 三浦千代志	建 設	継続審査
45	同	同	商工労働	同
46	北海道の気象事業整備拡充を求める件	全気象労働組合北海道地方本部 執行委員長 生本武ほか1人	総 務	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
11	医療保険の抜本改悪に反対し、その充実改善を求める決議に関する件	北海道統一戦線促進労働組合 懇談会 代表 中野 募	厚 生	継続審査
12	小樽運河を埋め立てる道道臨港線計画の見直しに関する件	小樽運河を守る会 会長 峰山 富美	建 設	同
13	同	同	文教林務	同

② 継続審査中のものであって、第1回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
4	食品添加物の使用規則を強化し、消費者本位の食品衛生行政を求める件	厚 生	取 下 げ
11	食品添加物の規則緩和に反対する件	同	同
20	国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件	同	同

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
5	北海道を核戦場にさせないための件	総 務
12	登別市に警察署設置の件	同
14	平和に関する件	同
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	同
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	厚 生
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	同
16	老人医療に関する件	同
18	灯油値下げに関する件	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	商工労働
17	灯油値下げに関する件	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	農 務
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	文教林務
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同
19	公立高校の増設等に関する件	同
23	（仮称）「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	同
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	総 務
7	指名競争入札執行の自粛の件	同
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	厚 生
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同
9	軍人・軍属恩給欠格者の早期救済に関する件	同
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	商工労働
10	一級河川十勝川水系札内川第二札内橋架橋促進に関する件	建 設

委員会の動き

議会運営委員会

○2月23日（木） 午後1時29分、議会運営委員会室において開議、午後1時32分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、第1回定例会提出案件について説明。
- ② 石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙について、各党派会長会議で協議の結果、社会から推せんする旨決定し、社会から高橋庸議員の推せん申し出があった旨を報告。選挙の方法は指名推せんとし、議長から指名することを決定。補欠選挙は、明日の本会議において行うことを決定。
- ③ 代表質問の通告について、2月29日正午までに提出願うことを決定。
- ④ 一般質問について、順位は従来例によることを了承。諸派の順位については輪番制とすることを了承、通告については、3月3日正午までに提出願うことを決定。
- ⑤ 議案調査のため、2月25日から3月1日まで休会し、3月2日再開することをはかり決定。
- ⑥ HBCから、知事の執行方針演説の録画及び録音のため、演壇上にマイクを設置することについて申し出があり、議長が許可する旨を了承。
- ⑦ 2月24日の本会議の議事順序については、明日協議することを了承。

○2月24日（金） 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。
- ▽ 議事順序

（開会）

- 日程第1 会議録署名議員の指定
諸般の報告
元議員の逝去報告
- 日程第2 会期決定の件（2月24日から3月27日まで33日間）
- 日程第3 議案第1号ないし第87号
道政執行方針並びに提出議案に関する知事の説明
教育行政執行方針に関する教育長の説明
- 日程第4 昭和58年における異常気象による冷害対策に関する件
大平秀雄冷害対策特別委員長の報告

（採決）

1. 委員長報告をもって本件調査は終了することについて簡易採決

日程第5 石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙（選挙すべき企業団議会議員の補欠人数1人）

1. 選挙の方法は、指名推せんによることについて簡易採決
2. 指名の方法は、議長において指名することについて簡易採決

（議長により指名）

議案調査のための休会日の決定

（2月25日から3月1日まで）

○3月2日（金） 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午後3時4分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 代表質問の通告（4人）について報告。本日2人、明日2人行うことを決定。
- ② 予算特別委員会について、委員会構成及び正副委員長の配分は配付資料のとおりとすることを決定。委員名簿は3月8日まで提出すること、設置動議は自民に提出願うことを決定。
- ③ 請願の特別委員会付託について、請願第33号は本日の本会議において石炭対策特別委員会に付託することを決定。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前9時46分休憩、午後3時再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 請願第33号

請願第33号 道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件

1. 本件を石炭対策特別委員会に付託することについて簡易採決

日程第2 議案第1号ないし第87号

質疑並びに一般質問(代表質問2人)

- ⑤ 休憩前の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、委員長から速記録を反訳中であることを報告。休憩中、新沼浩議員(自民)から知事に対し、「健全な財政運営維持の見通しを得るのに必要な基礎資料(収支試算など)」を提出するよう措置されたいとの要請が議長にあり、議長から理事者には頭をもって伝えた旨報告。
- ⑥ 総務部長から、高橋議員の議事進行発言に関し、議事録が出来次第内容の精査・調査等を行う旨、新沼議員からの資料要求に関し、資料要求に対する検討に時間を要する旨発言。工藤議員から資料要求事例の有無などについて質問があり、事務局長及び総務部長から答弁の後、本日の本会議は、延会することに決定。

○3月3日(土) 午前10時29分、議会運営委員会室において開議、午前10時32分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明の後、3月6日追加提出することを了承。
- ② 議案調査のため、3月5日休会し、3月6日再開することをはかり決定。
- ③ 意見案の発議予定について、農務委員会において昭和59年度畜産物価格等に関する要望意見書の発議が予定されており、提出された

場合、3月6日の本会議において議決する扱いとすることに決定。

- ④ 昨日の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言並びに新沼浩議員(自民)の知事に対する資料要求について、総務部長から、議事録精査を行ったが調査等のため、なお時間を要する旨、要求のあった資料作成が可能かどうかの有無の見通しになお日数を要する旨発言の後、本日の本会議は3月5日の休会を決定した後、日程を延期し、延会することをはかり決定。

○3月6日(火) 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午後4時15分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 3月2日の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言並びに新沼議員の知事に対する資料要求の件について、総務部長から、要求のあった資料の取り扱い等について調整のためなお時間を要する旨説明の後、午前9時44分休憩、午後2時50分再開。
- ② 総務部長から、新沼議員の質問に対する答弁について議事録を精査した結果、知事から補足答弁を行いたい旨、新沼議員から要求のあった資料については予算特別委員会の審議に間に合うよう提出したい旨発言があり、本会議は知事の補足答弁から入ることをはかり決定。
- ③ 総務部長から、追加提出案件について説明の後、本会議における知事の提案説明の行う時期は改めて協議することを了承。議案第88号ないし第96号については、先議する扱いとし、先議の日程等については、後日協議することを了承。
- ④ 意見案第1号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において議決する扱いとすることを決定。
- ⑤ 一般質問の通告(30人)について報告。順位は、従来例により取り進めることとし、通告一覧表のとおり各党派内における順位等に変更の無いことを確認。諸派の順位は、無所属、共産の順となったことを報告。個人別順位については、議事課参事説明のとおりと

することに決定。進め方については、改めて協議することを了承。

- ⑥ 本日の本会議について、日程第1の議事を議題とした後、議事を中止し、意見案第1号を追加日程として議決し、引き続き日程第1の質疑並びに一般質問を継続、新沼浩議員（自民）の質問に対する知事の補足答弁から入ることを決定。

- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午後2時59分休憩、午後4時14分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第87号

質疑並びに一般質問（代表質問
1人・継続）

◎日程第1の議事中止

追加日程 意見案第1号

意見案第1号 昭和59年度畜産
物価格等に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

◎日程第1の議事継続（代表質問4人、うち1人継続）

- ⑧ 総務部長から、新沼議員の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言があつて、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することに決定。

○3月7日（水） 午後1時32分、議会運営委員会室において開議、午後1時35分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、昨日の本会議における新沼浩議員（自民）の再質問に対する知事の答弁準備が出来た旨発言があり、本日の本会議は、新沼議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 代表質問について、本日の本会議は2人行うこと及び明日は2人行うことを決定。

- ④ 一般質問の進め方について、明日協議することに決定。

- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第87号

質疑並びに一般質問（代表質問
2人・うち1人継続）

○3月8日（木） 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午前9時46分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 3月6日追加提出した議案第88号ないし第96号に関する知事の説明について、本日の代表質問終了後、一般質問に入る前に行うことを決定。
- ② 議案調査のため、3月9日及び3月12日は休会することに決定。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ④ 一般質問の進め方について、当初日程は3月10日までとなっているが、通告者は30名であり、3月16日まで行うこととし、3月8日代表質問終了後2人、10日5人、13日6人、14日6人、15日6人、16日5人の予定で行うことを決定。
- ⑤ 本日の本会議について、代表質問終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として、追加提出議案に関する知事の提案説明を行った後、日程第1にあわせ一括議題として一般質問に入り、2人行う予定で取り進めることを了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第87号

質疑並びに一般質問（代表質問
2人）

◎日程第1の議事中止

追加日程 議案第88号ないし第96号

追加提出議案に関する知事の説

明

- ◎日程第1にあわせ、追加日程の議案第88号ないし第96号を一括議題として議事継続（一般質問2人）
議案調査のための休会日の決定
（3月9日）

○3月10日（土） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時37分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問5人行うことを了承。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第96号
質疑並びに一般質問（一般質問5人）

議案調査のための休会日の決定
（3月12日）

○3月13日（火） 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午後4時22分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問7人となるが、何人行うかは進行状況により協議することを了承。
- ③ 古川靖晃建設委員長が、全国道路利用者会議に出席のため、本日の本会議は欠席することを了承。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前9時44分休憩、午後4時21分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第96号
質疑並びに一般質問（一般質問

7人）

- ⑤ 総務部長から、綿貫健輔議員（自民）の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することに決定。

○3月14日（水） 午前9時44分、議会運営委員会室において開議、午後零時5分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、昨日の綿貫健輔議員（自民）の再質問に対する知事の答弁準備になお時間を要する旨発言の後、午前9時45分休憩、午後零時2分再開。
- ② 総務部長から、知事の答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は、綿貫議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ④ 本日の本会議について、一般質問9人となるが、本日何人行うかについては、進行状況により協議することを了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第96号
質疑並びに一般質問（一般質問9人）

○3月15日（木） 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午後4時32分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問10人となるが、本人何人行うかについては、進行状況により協議することを了承。
- ③ 総務部長から、永澤副知事が、昭和59年度の加工原料乳の保証価格及び指定食肉の安定価格を審議する畜産振興審議会に出席のため、本日の本会議を欠席する旨発言の後、了承。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時39分休憩、午後1時9分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第96号

質疑並びに一般質問(一般質問10人)

- ⑤ 休憩前の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、議事録精査の結果、知事から補足答弁を行いたい旨発言があって、本日の本会議は小野寺勇議員(自民)の再質問に対する知事の補足答弁から入ることに決定。午後1時10分休憩、午後4時31分再開。
- ⑥ 総務部長から、岩本允議員(自民)の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することに決定。

○3月16日(金) 午前9時39分、議会運営委員会室において開議、午前11時44分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における岩本允議員(自民)の再質問に対する知事の答弁準備になお時間を要する旨発言があって、午前9時40分休憩、午前11時40分再開。
- ② 総務部長から、答弁準備になお時間を要する旨発言があって、本日の本会議は午後1時開会を目途に、岩本議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを了承。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について、了承。
- ④ 一般質問の進め方について、日程は本日までとなっているが、進行の状況から明日まで行うこととし、本日6人、明日6人の予定で取り進めることに決定。
- ⑤ 3月19日は当初日程どおり休会することとし、その後の日程は明日あらためて協議することを決定。
- ⑥ 委員長から、今後の審議の促進方について、各派において特段の配慮を願いたい旨要請。

- ⑦ 総務部長から、3月17日に追加提出の予定案件について説明の後、これを了承。

- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第96号

質疑並びに一般質問(一般質問7人)

○3月17日(土) 午前9時47分、議会運営委員会室において開議、午後2時38分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 総務部長から、追加提出案件について説明の後、議案第97号については、本日の本会議において、日程第1として知事の提案説明を行うことを決定。本件については、総務部長要請のとおり先議する扱いとし、日程等については先議する案件の取り扱いと合わせ改めて協議することを了承。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 本日の本会議について、一般質問8人となるが、本日終了しない場合は、3月21日引き続き本会議を開会し、一般質問を行うこととして、取り進めることを決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前9時50分休憩、午後2時37分再開。
- ▽ 議事順序
- (諸般の報告)
- 日程第1 議案第97号
追加提出議案に関する知事の説明
- 日程第1の議案第97号にあわせ
- 日程第2 議案第1号ないし第96号
質疑並びに一般質問(一般質問8人)
- 議案調査のための休会日の決定
(3月19日)
- ⑤ 総務部長から、桜井外治議員(自民)の再再質問に対する教育長の答弁準備にかなりの時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、

この程度にとどめ、3月19日の休会を決定し、延会することをはかり決定。

○3月21日（水） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後3時17分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、3月17日の本会議における桜井外治議員（自民）の再再質問に対する答弁準備について、なお時間を要する旨発言の後、午前9時36分休憩。休憩宣告後、中川隆之委員（道政）から審議が遅れている状況に関し、今後の見通し等の考えについて発言があり、関連して各委員から発言。午前10時50分再開。
- ② 3月17日の本会議における桜井議員の再再質問に関し、総務部長から、答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は桜井議員の再再質問に対する教育長の答弁から行うことを決定。
- ③ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ④ 本日の本会議について、一般質問6人となるが、本日一般質問が終結した場合、予算特別委員会の設置並びに議案の各委員会付託を行うことになるが、本件については一般質問の進行状況によりあらためて協議することを了承。
- ⑤ 委員長から、野村権作北方領土対策特別委員長が3月21日・22日に本会議を欠席することについて報告し了承。
- ⑥ 総務部長から、知事が明日、北方領土返還促進に関する要請・請願のため上京したい旨発言の後、了承。委員長から、本日、一般質問が終了しない場合、明日の一般質問は、知事が帰庁するまでの間、副知事が対応することをはかり、大橋晃議員（共産）から知事の政治姿勢に係る質問を行うため、態度については保留したい旨発言。総務部長から、知事は用務終了後、直ちに帰庁する予定であり、議会運営に支障をきたさないよう努めたい旨発言の後、これをはかり、了承。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前10時55分休憩、

午後3時5分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第97号

質疑並びに一般質問（一般質問6人）

- ⑧ 総務部長から、吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁準備にかなりの時間を要する旨説明。
- ⑨ 本日の本会議の進め方について、一般質問は本日までとなっているが、現在4人が残っているため、明日も本会議を開会して一般質問を行うこととし、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することをはかり、異議なく決定。
- ⑩ 木本由孝委員（自民）から、自民の質問における理事者の答弁調整に再三時間を要している状況に対し、委員長から理事者に話しをする様発言があり、関連して各委員が意見交換の後、委員長から、一般質問が遅れているため各派においても審議の促進に協力をお願いしたい旨及び理事者においても答弁に時間がかからないよう十分対応されたい旨発言。

○3月22日（木） 午前10時21分、議会運営委員会室において開議、午後4時22分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、昨日の本会議における吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨説明。午前10時22分休憩、午後4時19分再開。
- ② 総務部長から、上京中の知事が予定時刻を遅れたが、先程帰庁した旨報告。
- ③ 総務部長から、昨日の本会議における吉川議員の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は、吉川議員の再質問に対する知事の答弁から行うことを決定。
- ④ 本日の本会議について、一般質問4人となるが、本日は吉川議員までとし、明日も引き続き本会議を開会し、一般質問を行うことを決定。
- ⑤ 昭和58年度補正予算案等の先議案件の取り扱いについて、明日協議することを了承。

- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第97号

質疑並びに一般質問(一般質問
1人・継続)

○3月23日(金) 午前9時39分、議会運営委員会室において開議、午前9時42分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 本日の本会議について、一般質問3人行うことを了承。
- ② 予算特別委員会について、各分科委員の配分は、各会派間で調整の結果、配付のとおり決定した旨報告。委員の選任について、各会派から提出のあった別紙名簿のとおり選任することをはかり決定。設置動議について、木本由孝議員(自民)に提出願うことを了承。
- ③ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ④ 昭和58年度補正予算案等の先議について、議案第88号ないし第97号は、本日、質疑並びに一般質問終了後、関係委員会に付託し、委員会審査終了後、明日、本会議を開会し、先議する予定で取り進めることを決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第97号

質疑並びに一般質問(一般質問
3人)

(質疑終結宣告)

- 予算特別委員会設置
- 予算特別委員の選任
- 議案第84号を総合開発調査特別委員会に付託することについて簡易採決
- 残余の議案の各委員会付託

○3月24日(土) 午後2時7分、議会運営委員会室において開議、午後2時10分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 3月2日、新沼浩議員(自民)から議長に対し措置要請のあった資料について、昨日、知事から議長に対し提出があり、議長は本資料を新沼議員及び各派会長に送付したことを報告。
- ② 先議案件の各委員会における審議状況について、すべて議了したことを報告。
- ③ 特別委員会委員の辞任許可及び補欠選任について、酒井芳秀石炭対策特別委員及び中崎昭一公害対策特別委員から、委員辞任の願い出があり、本日、議長が許可したことを報告。これに伴う委員の補充については、自民から推せんすることとし、自民推せんのとおり、石炭対策特別委員に中崎昭一議員(自民)、公害対策特別委員に酒井芳秀議員(自民)を本日の本会議において、補欠選任することをはかり決定。
- ④ 各委員会付託議案審査のため、3月26日は休会し、3月27日再開することを決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 特別委員補欠選任の件

石炭対策特別委員酒井芳秀君並びに公害対策特別委員中崎昭一君の辞任を許可したことに伴い、
中崎昭一君を石炭対策特別委員に、酒井芳秀君を公害対策特別委員にそれぞれ補欠選任することについて簡易採決

日程第2 議案第88号ないし第97号

予算特別、総務、建設各委員長報告

(討論)

1. 大橋議員の議案第88号及び第91号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第88号及び第91号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、起立により採

決 (共産反対)

2. 議案第89号、第90号及び第92号ないし第97号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、簡易採決
各委員会付託議案審査のための休会の決定(3月26日)

○3月27日(火) 午後3時59分、議会運営委員会室において開議、午後4時3分散会
委員長 平野 明彦(自民)

- ① 予算特別委員長から、予算特別委員会の審議状況について報告。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ③ 会期を3月30日まで3日間延長することをはかり決定。
- ④ 各委員会付託議案審査のため、3月29日まで休会し、30日再開することをはかり決定。
- ⑤ 本日の本会議について、3月30日まで3日間会期延長を議決し、3月28日・29日の休会を決定した後、散会することをはかり決定。

○3月30日(金) 午後4時35分、議会運営委員会室において開議、午後4時40分散会
委員長 平野 明彦(自民)

- ① 予算特別委員長から、予算特別委員会における審議状況について報告。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ③ 今期定例会の会期は、本日までとなっているが、議長から、各会派幹事長会議において会期を1日間延長することで意見が一致したので、本委員会において協議願いたい旨申し出があったことを報告。
- ④ 会期を3月31日まで1日間延長することをはかり決定。
- ⑤ 総務部長から、議案第18号及び第19号に関し、国の59年度予算が暫定予算となったことに伴い、改正規定の時期を訂正したい旨発言があって、異議なく了承。本件については、本日の本会議に上程し、承認する扱いとする

ことを了承。

- ⑥ 本日の本会議について、3月31日まで1日間会期を延長し、議案第18号及び第19号の一部訂正を求める件を承認して散会することをはかり決定。

○3月31日(土) 午後4時30分、議会運営委員会室において開議、午後9時44分散会

委員長 平野 明彦(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、本日の本会議は、取りあえず会議時間を延長することをはかり決定。
午後4時31分休憩、午後9時38分再開。
 - ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議した旨報告。
 - ③ 決算特別委員会について、前会より継続審査中の報告第2号は、本日の委員会において継続審査の申し出をすることに決定した旨報告。
 - ④ 総務部長から、追加提出議案に関する説明の後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
 - ⑤ 決議案第1号の提出があった旨報告。本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
 - ⑥ 意見案第2号ないし第6号の提出があった旨報告。いずれも本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
 - ⑦ 各関係委員長から審査結果報告のあった請願について、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
 - ⑧ 総務部長から、地方税法の一部を改正する法律案が現在国会で審議中であり、改正案が成立した場合その内容に合わせて、道税条例も改正を行う必要があり、同法の公布をまつて専決処分を行いたい旨発言があり、異議なく了承。
 - ⑨ 事務局長から、本日の本会議配付資料の一部報告年月日等の訂正について発言があり、異議なく了承。
 - ⑩ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。
- ▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第87号

予算特別、総務、厚生、商工労働、農務、建設、水産、文教林務、総合開発調査特別各委員長報告

(討論)

1. 大橋議員の議案第1号、第10号、第15号ないし第19号、第23号、第26号、第27号、第29号、第31号、第32号、第34号、第36号ないし第44号、第47号、第49号ないし第56号、第60号ないし第63号、第65号、第68号、第74号、第79号、第84号及び第85号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第1号、第10号、第15号ないし第19号、第23号、第26号、第27号、第29号、第31号、第32号、第34号、第36号ないし第44号、第47号、第49号ないし第56号、第60号ないし第63号、第65号、第68号、第74号、第79号、第84号及び第85号を問題とし、委員長報告(議案第85号は同意議決、その他の議案はすべて可決)のとおりに決することについて、起立により採決 (共産反対)
2. 議案第2号ないし第9号、第11号ないし第14号、第20号ないし第22号、第24号、第25号、第28号、第30号、第33号、第35号、第45号、第46号、第48号、第57号ないし第59号、第64号、第66号、第67号、第69号ないし第73号、第75号ないし第78号、第80号ないし第83号、第86号及び第87号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて簡易採決

日程第2 議案第98号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり同意することについて簡易採決

(議案第98号 北海道出納長の選任につき同意を求める件)

日程第3 決議案第1号

決議案第1号 シートベルト着用に関する決議

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 意見案第2号ないし第6号

意見案第2号 国鉄ローカル線の確保及び地方割増運賃制度導入撤回に関する要望意見書

意見案第3号 シートベルト着用の法制化を求める要望意見書

意見案第4号 青少年の非行防止に関する要望意見書

意見案第5号 使用済み乾電池の処理対策に関する要望意見書

意見案第6号 食品添加物の規制に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第5 請願審査の件(採択2件)

(委員長報告省略)

(採決)

1. 本件をいずれも請願審査報告書(採択)のとおりに決することについて簡易採決

○閉会中継続審査の件

決算特別委員長から前会より継続審査中の報告第2号について申し出のとおりに閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

○閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに石炭対策特別委員長から申し出のとおりに閉会中継続

審査または調査に付することについて

て簡易採決

○議長の閉会あいさつ

○閉会宣告

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○2月23日（木） 午前10時39分、第5委員会室
において開議、午前11時8分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

○ 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及
び警察本部総務部長から、第1回定例会提出
予定案件について説明。

○3月3日（土） 午前11時25分、第5委員会室
において開議、午前11時28分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

○ 総務部長から、第1回定例会追加提出予定
案件について説明。

○3月16日（金） 午前11時47分、第5委員会室
において開議、午前11時49分
散会
委員長 川口 常人（自民）

一 般 議 事

○ 総務部長から、第1回定例会追加提出予定
案件について説明。

○3月24日（土） 午後1時54分、第5委員会室
において開議、午後1時57分
散会
委員長 川口 常人（自民）

付託案件の審査

○ 先議を要する議案第95号（財産の処分に関
する件）を議題とし開発調整部長から説明の
後、異議なく原案のとおり可決することに決
定。先議案件に対する委員長報告について
は、委員長に一任することとした。

○3月31日（土） 午後8時44分、第5委員会室
において開議、午後8時57分

散会

委員長 川口 常人（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第18号（札幌医科大学条例の一部を改正する条例案）及び議案第19号（札幌医科大学衛生短期大学部条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第21号（北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）、議案第22号（北海道税条例の一部を改正する条例案）、議案第23号（北海道立青函トンネル記念館条例の一部を改正する条例案）、議案第24号（北海道危険動物飼養規制条例の一部を改正する条例案）、議案第25号（北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案）、議案第26号（北海道立開拓記念館条例の一部を改正する条例案）及び議案第64号（北海道警察組織条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長からそれぞれ説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、シートベルト着用の法制化を求める要望意見案並びにシートベルト着用に関する決議案及び国鉄ローカル線の確保及び地方割増運賃制度導入撤回に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 4 月 2 日（月） 午前10時41分、第5委員会室において開議、午前10時44分
散会

委員長 川口 常人（自民）

請願、陳情の審査

請 願

第28号 道民負担増、大企業優遇に反対し、暮らしを守る59年度予算を求める件 （議決不要）

一 般 議 事

- 総務部長から、道税条例の一部改正に係る専決処分について報告。

厚 生 委 員 会

○ 2 月 23 日（木） 午前10時31分、第9委員会室において開議、午前11時7分
散会

委員長 星野 健三（社会）

一 般 議 事

- 民生部長及び衛生部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

○ 3 月 31 日（土） 午後8時35分、第9委員会室において開議、午後9時6分
散会

委員長 星野 健三（社会）

付託案件の審査

- ① 議案第27号（北海道立社会福祉総合センター条例の一部を改正する条例案）、議案第29号（北海道立保育専門学院条例の一部を改正する条例案）、議案第31号（北海道委託衛生試験条例の一部を改正する条例案）、議案第32号（北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例案）、議案第34号（北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案）、議案第36号（食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例案）及び議案第37号（かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、民生部長及び衛生部長から、それぞれ説明の後、

大橋晃委員（共産）から、社会福祉総合センター使用料の引き上げに関し、利用状況、使用料引き上げの理由、障害者等に対する減免規定の内容、減免の適用状況、適用のない理由、減免制度活用の周知徹底方について質疑及び要望があり民生部長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（共

産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

- ② 議案第28号(北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案)を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ③ 議案第30号(北海道病院事業条例の一部を改正する条例案)を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ④ 議案第33号(北海道立診療所条例の一部を改正する条例案)を議題とし、衛生部長から説明の後、

大橋晃委員(共産)から、道立西春別診療所の廃止に関し、その理由、今後の診療所廃止に係る慎重な対応方について

質疑及び要望があり衛生部長から答弁の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ⑤ 議案第35号(公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例案)を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ⑥ 議案第85号(空知北部地域広域的水道整備計画を定めることにつき同意を求める件)を議題とし、衛生部長から説明の後、

大橋晃委員(共産)から、水道整備計画に関し、過大な取水計画の積算根拠、上水道関係負担額、完成遅延の場合の対応策、自治体及び住民に対する過重負担を避けるための指導強化の考え、計画見直しの考え、自治体及び住民に対する負担軽減の配慮方について質疑及び要望があり、衛生部長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請 願

第26号 獣医師の待遇等改善に関する件
(採択)

第43号 食生活の安全を確保するために、食品添加物に関し、意見書を求める件
(採択)

請願、陳情の取下げ報告

委員長から、本委員会に付託されていた請願第4号(食品添加物の使用規制を強化し、消費者本位の食品行政を求める件)、請願第11号(食品添加物の規制緩和に反対する件)及び請願第20号(国立病院、療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件)については、付託が取り消された旨報告。残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なく決定。

一 般 議 事

- ① 委員長から、青少年の非行防止、使用済乾電池の処理対策及び食品添加物の規制に関する要望意見案について、それぞれ配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○4月10日(火) 午前10時49分、第9委員会室
において開議、午前11時55分
散会
委員長 星野 健三(社会)

請願、陳情の審査

請 願

第36号 父母負担の軽減を求め、道立高校の授業料等道の各種公共料金値上げ反対に関する件
(議決不要)

第38号 高校授業料をはじめ各種使用料・手数料など公共料金値上げ反対に関する件 (議決不要)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 委員長から、青少年の非行防止、使用済乾電池の処理対策及び食品添加物の規制に関する中央折衝の実施については、委員長に一任することとした。

- ③ 大橋晃委員(共産)から、エキノコックス症に関し、感染経路の実態、感染動物(中間

宿主)の変化の状況、症状の主な特徴、患者発生状況、汚染地域拡大の実態、新たな対策である実施要領の重点地域の改定内容、汚染地域拡大の原因及び拡大の可能性、新たな汚染地域に係る対策の概要、衛生教育・健康診断・媒介動物対策・飲料水対策の実施方針、媒介動物の実態調査の必要性、剖検施設等体制の整備の考え、犬の剖検の必要性、キツネとの正しい共存の考え、水道普及率の低い町村に係る対応策、従来の健康診断の方法及び一次検診の方法変更の理由、受診者数及び検診結果、検診費用及び交通費の負担状況、費用助成の考え、超音波など新技術導入による具体的な検診実施の見通し、要精密検診実施病院の場所、診断・治療病院の箇所数増の考え、エキノコックス症の拡大阻止に向けての決意について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

商 工 労 働 委 員 会

○2月23日(木) 午前10時30分、第8委員会室
において開議、午前11時30分
散会
委員長 湯本 芳志(社会)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外における商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
 - ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
 - ③ 久田恭弘委員(自民)から、コミュニティ・マーケット構想の国の考え方と事業の概要及び予算の内容、北海道の対応策、商業近代化地域計画の策定状況、最近3箇年間に広域商業診断を実施した市町村、中核都市の市街地再開発事業計画と商業診断等との関連性、小樽市の都市整備調査及び広域商業診断との関連におけるコミュニティ・マーケット構想の推進等について
- 質疑、意見及び要望があり、商工観光部長か

ら答弁。

○3月31日(土) 午後8時34分、第8委員会室
において開議、午後9時5分
散会
委員長 湯本 芳志(社会)

付託案件の審査

- ① 議案第38号(北海道立工業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案)、議案第40号(北海道立地下資源調査所手数料条例の一部を改正する条例案)、議案第66号(北海道公営企業条例の一部を改正する条例案)を順次議題とし、商工観光部長及び企業局長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 議案第39号(北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案)を議題とし、商工観光部長から説明の後、

石川十四夫委員(道政)から、本条例の主な改正点、条例制定の主たる目的と改正による変化、ソフトウェアや試験研究施設に適用することについての妥当性と新たに明記すること等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁の後、原案のとおり可決することに決定、次いで、

久田恭弘委員(自民)から、本委員会における審議の経過にかんがみ、議案第39号に関する次の附帯意見、「今回改定された北海道工鉱業開発促進条例は、現状認識と将来展望が明確でない、さらに先端技術産業関連の誘致条項の導入についても、立法の趣旨からみて、不十分な面が見受けられる。

また、本道工業の高度化と地域の均衡ある発展を促進させる見地から、なお一層、整備充実を図る必要がある。

よって知事は当面、改定条例に基づき、企業誘致に積極的に取り組むべきであるが、あわせて、昭和59年度中に当該条例を抜本的に見直し、すみやかに改善する方向で検討すべきである」を委員長報告に挿入されたい旨の動議が提出され、賛成があつて動議成立、これをはかつて異議なく本動議のとおり決定。

付託案件に対する委員長報告については、委

員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○ 4 月 10 日（火） 午後 2 時 43 分、第 8 委員会室
において開議、午後 2 時 52 分
散会

委員長 湯本 芳志（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長から、中小企業高度化事業に係る「ちとせデパート」について報告。
- ② 労働部長から、「雇用における男女の機会均等と待遇の平等の確保のための法的整備」について報告。

農 務 委 員 会

○ 2 月 23 日（木） 午前 10 時 22 分、第 7 委員会室
において開議、午前 10 時 42 分
散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道外農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、第 1 回定例会提出予定案件について説明。

○ 3 月 2 日（金） 午後 2 時 15 分、第 7 委員会室
において開議、午後 2 時 27 分
散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和 59 年度畜産物価格等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することををはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施については、異議なく決定、実施時期等については、委員長に一任することと

した。

- ③ 吉野之雄委員（社会）から、転作麦作付農家に対する他用途米作付の指導、他用途米配分面積の固定化等について
質疑があり、農務部長から答弁。

○ 3 月 31 日（土） 午後 8 時 53 分、第 7 委員会室
において開議、午後 8 時 58 分
散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

付託案件の審査

- 議案第 41 号（北海道立産業共進会場条例の一部を改正する条例案）、議案第 42 号（北海道立農業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案）、議案第 43 号（北海道種馬鈴しゅ生産販売取締条例の一部を改正する条例案）、議案第 44 号（北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、農務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○ 4 月 2 日（月） 午前 10 時 27 分、第 7 委員会室
において開議、午前 10 時 34 分
散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和 59 年度畜産物価格等に関する中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、昭和 59 年度畜産物価格等の決定について報告の後、
三沢道男委員（社会）から、関連対策の具体策についての道の対応について
質疑があり、農務部長から答弁。

建設委員会

○2月23日（木） 午前10時54分、第4委員会室
において開議、午前11時24分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、附属機関等の委員の推薦について、北海道住宅供給公社運営委員に柳谷正一副委員長（公明）及び木本由孝委員（自民）をそれぞれ推せんすることをはかり、異議なく決定。

○3月24日（土） 午後1時57分、第4委員会室
において開議、午後2時散会
委員長 古川 靖晃（自民）

付託案件の審査

- 先議を要する議案第96号（河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

○3月31日（土） 午後8時43分、第4委員会室
において開議、午後8時58分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第45号（北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案）、議案第46号（北海道普通河川及び堤防敷地条例の一部を改正する条例案）、議案第47号（北海道沿岸水域の工事取締条例の一部を改正する条例案）、議案第48号（北海道建築士法施行条例の一部を改正する条例案）、議案第49号（北海道立寒地建築研究所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案）、議案第50号（北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、土木部長及び住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決すること

に決定。

- ② 議案第86号及び87号（いずれも財産の処分に関する件）を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 木本由孝委員（自民）から、道道小樽臨港線に関し、今日までの経緯について報告するよう要望があり、住宅都市部長から報告。

○4月10日（火） 午後零時30分、第4委員会室
において開議、午後零時35分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一般議事

- ① 委員長から、附属機関等の委員の推薦について、北海道開発審査会委員に古川靖晃委員長（自民）を推せんすることをはかり、異議なく決定。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、組織機構の改正について説明。

農地開発委員会

○2月23日（木） 午前10時34分、第3委員会室
において開議、午前11時7分
散会
委員長 中川 隆之（道政）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。異議なく了承。
- ② 農地開発部長から、昭和59年度国費予算案の概要について説明。
- ③ 農地開発部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- ④ 農地開発部長から、冷・災害時における土地改良事業の有効性に関する調査結果について報告。

○3月31日(土) 午後8時31分、第3委員会室において開議、午後8時33分散会、委員長事故のため、副委員長 土屋 良三(自民)

一般議事

- 副委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○4月2日(月) 午前10時20分、第3委員会室において開議、午前10時31分散会
委員長 中川 隆之(道政)

一般議事

- ① 農地開発部長から、昭和58年度道営工事の発注状況について説明の後、
吉田英治委員(社会)から、新年度の上期、下期の発注の考え方、下位ランクの発注の状況、
土屋良三副委員長(自民)から、発注のバランスについて
質疑があり、農地開発部長から答弁。
② 委員長から、さきに実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

水産委員会

○2月23日(木) 午前11時27分、第6委員会室において開議、午前11時50分散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
② 委員長から、さきに実施した道外における水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
③ 高橋康之委員(自民)から、ホタテ貝毒の

基準値見直し、漁業者の指導について
質疑があり、水産部長から答弁。

○3月31日(土) 午後8時59分、第6委員会室において開議、午後9時2分散会
委員長 中崎 昭一(自民)

付託案件の審査

- 議案第51号(北海道立水産試験場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例案)及び議案第52号(北海道立水産孵化場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、水産部長から説明の後、異議なく原案可決と決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○4月2日(月) 午前10時32分、第6委員会室において開議、午前11時21分散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、栽培漁業の基本計画の策定について説明の後、
新沼浩委員(自民)から、これまでの種苗計画との整合性、鹿部の栽培漁業センターの種苗生産計画との関連等について
質疑があり、水産部長から答弁。
② 水産部長から、流水の異常接岸に伴う被害状況について説明の後、
酒井芳秀委員(自民)から、流水の観測・予報体制の状況と早期予報による被害防止に対する見解、迅速かつ正確な流水予測の提供について関係機関に要請する考えについて
伊藤武一委員(公明)から、今回の流水被害の確定時期、共済の加入状況及び流水被害に係る漁民からの要望内容について
谷川英雅委員(社会)から、天災融資法の適用の見通し、今回の被害に適用される制度資金の内容、融資の早期実施方等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

- ③ 酒井芳秀委員（自民）から、本道周辺水域の漁業振興に関する行政監察結果について質疑があり、水産部長から答弁。

文教林務委員会

○ 2月23日（木） 午前10時35分、第10委員会室において開議、午前11時10分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

一般議事

- 教育長、林務部長及び学事課長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

○ 3月31日（土） 午後9時3分、第10委員会室において開議、午後9時12分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

付託案件の審査

- 議案第53号（北海道立林業試験場条例の一部を改正する条例案）、議案第54号（北海道立林産試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案）、議案第55号（北海道木材業者製材業者合板及び単板業者登録条例の一部を改正する条例案）、議案第56号（北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案）、議案第57号（北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案）、議案第58号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）、議案第59号（北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案）、議案第60号（北海道立青年の家条例の一部を改正する条例案）、議案第61号（北海道立少年自然の家条例の一部を改正する条例案）、議案第62号（北海道立美術館使用料条例の一部を改正する条例案）及び議案第63号（北海道立体育センター条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、林務部長及び教育長から説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可決することに決定。付

託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、青少年の非行防止に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 4月2日（月） 午前10時54分、第10委員会室において開議、午前10時56分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

請願、陳情の審査

請願

第31号 道民負担増、大企業優遇に反対し、くらしを守る59年度予算を求める件（議決不要）

第35号 父母負担の軽減を求め、道立高校の授業料等道の各種公共料金値上げ反対に関する件（議決不要）

第37号 高校授業料をはじめ各種使用料・手数料など公共料金値上げ反対に関する件（議決不要）

○ 4月10日（火） 午後1時32分、第10委員会室において開議、午後2時7分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

一般議事

- ① 学事課長から、学校法人桔梗学園に関し報告の後、

一野坪勉委員（社会）から、経営不振に至った原因、理事長の責任、経営の見通し、国に対する59年度補助金の扱い及び補助金算出の根拠について

質疑があり、学事課長から答弁。

- ② 菊地芳郎委員（社会）から、昭和59年度公立高等学校入学者選抜に関し、57年度、58年度学区外就学枠を10%とした理由、59年度第一次出願状況と学区外就学の出願状況、石狩

管内、その他の学区における出願変更の状況、特徴、これらの実態についての考え方、学区外就学の変更状況、学区外就学枠の縮少について
質疑があり、教育長から答弁。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○ 2月23日（木） 午後1時47分、第1委員会室
において開議、午後1時55分
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

○ 開発調整部長から、第1回定例会提出予定
案件について説明。

○ 3月31日（土） 午後9時19分、第1委員会室
において開議、午後9時23分
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

付託案件の審査

○ 議案第84号（滝里ダムの建設に関する基本
計画に対する意見の件）を議題とし、開発調
整部長から説明の後、異議なく原案のとおり
可決することに決定。付託案件に対する委員
長報告については、委員長に一任することと
した。

石炭対策特別委員会

○ 2月23日（木） 午後1時43分、第11委員会室
において開議、午後3時5分
散会

委員長 伊藤 豪（自民）

① 委員長から、さきに実施した昭和59年度北
海道石炭関係国費予算要求及び石炭関係の諸
問題での中央折衝の概要と産炭地域6団体連
絡協議会全国代表者大会、北海道石炭対策連
絡会議に出席し関係機関に対し要請した旨を
併せて報告。

② 委員長から、さきに実施した北炭幌内炭鉱
の経営安定対策に関する中央折衝の概要につ
いて報告書により報告、異議なく了承。

③ 商工観光部長及び労働部長から、昭和59年
度エネルギー関係特別会計予算について説

明。

- ④ 商工観光部長及び労働部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- ⑤ 商工観光部長から、北炭幌内炭鉱の経営状況とこれまでの経過等について報告の後、

土屋良三委員（自民）から、通産省の地元自治体に対する協力要請と今回の幌内炭鉱問題についての通産大臣及び資源エネルギー庁長官からの要請の具体的な内容、通産省及び道の同炭鉱の今後の経営見通しについての考え方と労使の姿勢について、6億円の不足資金と道の損失補償、自治体の債務保証の適法性、自治省の見解を含めた損失補償と債務保証との違い、炭鉱に対する優遇措置と炭鉱以外の不況産業に対する措置、損失補償についての基準、不足資金6億円の手当と石炭審の承認との関係等

伊達忠一委員（道政）から、国の所管である石炭政策と道との関係、幌内炭鉱の再建見込み、計画で目標としている出炭の可能性、幌内炭鉱の出炭率等

宇川源吉委員（自民）から、通産省の現地調査結果の出る時期と道への連絡、幌内炭鉱からの昨年の3億円の幹旋融資後の経営状況等説明の有無、契約の予定時期、経営状況の報告の受理等について

（関連して藤井虎雄委員（社会）から、出稼率について）

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び石炭対策本部事務局長から答弁。

本日聴取した陳情

北炭幌内炭鉱の経営安定対策について
三笠市幌内炭鉱問題対策市民会議会長

○3月31日（土） 午後9時26分、第11委員会室において開議、午後9時31分散会、委員長事故のため

副委員長 一野坪 勉（社会）

- ① 副委員長から、酒井芳秀委員（自民）の辞任に伴い、中崎昭一委員（自民）が補欠選任された旨を報告。
- ② 副委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

- ③ 副委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○4月10日（火） 午後3時34分、第11委員会室において開議、午後3時52分散会

委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、さきを実施した北炭幌内炭鉱の現地調査及び同炭鉱の再建に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から北炭幌内炭鉱の経営状況について報告。
- ③ 藤井虎雄委員（社会）から、北電の施設計画の電力供給力と需要量とのアンバランス、発電施設の利用率と道内炭の使用量との関係及び使用量の早期掌握、海外炭と国内炭の価格についての誤った報道等について質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

北方領土対策特別委員会

○2月23日（木） 午後1時39分、第3委員会室において開議、午後1時47分散会

委員長 野村 權作（自民）

- ① 領対本部長から、昭和59年度北海道開発関係予算について説明。
- ② 領対本部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

公害対策特別委員会

○2月23日（木） 午後1時15分、第2委員会室において開議、午後1時22分散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- ① 生活環境部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 生活環境部長から、滝里ダム建設事業に係る環境影響評価の実施状況について報告。

予算特別委員会

○3月23日（金） 午後4時18分、第1委員会室
において開議、午後4時29分
散会

委員長 石山 直行（自民）

正副委員長の互選

- ① 野村権作臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、萩上元春委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって石山直行委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、橋浪蔵委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって吉野之雄（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後4時24分休憩、午後4時25分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、3分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員17人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局及び監査委員、第2分科会は委員17人、所管は民生部、衛生部、土木部、住宅都市部、企業局及び教育委員会、第3分科会は委員17人、所管は農務部、農地開発部、水産部、林務部、商工観光部及び労働部とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（17人）

大内 良一（社会）	大野 忠義（自民）
小野寺 勇（自民）	木戸浦隆一（自民）
柏倉 勝雄（社会）	檜林 巖（社会）
工藤 啓二（公明）	伊藤 弘（自民）
佐々木行雄（自民）	土屋 良三（自民）
橋 浪蔵（自民）	川口 常人（自民）
小野 秀夫（道政）	吉野 之雄（社会）

舟山 広治（社会）

野村 権作（自民）

大平 秀雄（自民）

○第2分科委員（17人）

相沢 武彦（公明）	国本 康夫（自民）
酒井 芳秀（自民）	高橋 一史（自民）
菊地 芳郎（社会）	高橋 庸（社会）
谷川 英雅（社会）	三沢 道男（社会）
神本 三也（社会）	木本 由孝（自民）
久田 恭弘（自民）	松崎 義雄（自民）
伊藤 豪（自民）	萩上 元春（社会）
西村 慎一（道政）	古川 靖晃（自民）
若狭 靖（自民）	

○第3分科委員（17人）

遠藤 常二（社会）	大野 新生（道政）
伊達 忠一（道政）	操上 良宏（自民）
出村 勝彦（自民）	増井貞一郎（自民）
浅野 俊一（公明）	大平 盛雄（社会）
一野坪 勉（社会）	青山 章（自民）
岩本 允（自民）	小田部善治（自民）
岩田 徳弥（自民）	寺崎 政朝（自民）
長岡 寅雄（社会）	岩崎 守男（社会）
宇野 眞平（自民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことについてはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置しその協議により運営すること及び正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

○3月24日(土) 午前10時15分、第1委員会室
において開議、午後1時47分
散会
委員長 石山 直行(自民)

① 議案第88ないし第94号及び第97号を一括
議題とし、質疑に入り、

国本 康夫委員(自民)から、

北炭幌内炭鉱への損失補償に関し、経営悪
化の要因と現在の負債状況、再建計画の内容
とこれに対する考え、国への要請内容と58年
度末の資金繰り状況及び国からの協力要請、
石炭政策は基本的に国の責任であるとの考
え、同鉱の帰趨が地域経済に与える影響、石
炭企業に対し道が支援措置を講じた事例、支
援措置の種類と基準、損失補償を行う判断と
損失補償契約の内容、債務負担行為の積算根
拠、石炭審の指摘に対する対策、今回の支援
が異例の措置であることに対する見解等につ
いて

大橋 晃委員(共産)から、

(1) 苫東住宅団地に関し、今回の補正を含め
一般会計からの貸し付け総額、地域振興公
団の動きと道の対応、住宅団地に対する道
の考え方等

(2) 幌内炭鉱の問題に関し、三笠市の財政の
現状と再建計画への指導、三井観光の対
応、再建への合理化と保安対策等について
質疑、意見及び要望があり、開発調整部長、商工観光
部長から答弁があって、先議案件に対する質疑を終
結。先議案件に対する意見調整のため午後1時43分休
憩、午後1時46分再開。

② 委員長から、各派代表者会議における意見
調整の結果、議案第88号ないし第94号及び第
97号について、異議なく原案のとおり可決す
ることに決定。

第1分科会

○3月23日(金) 午後4時31分、第1委員会室
において開議、午後4時41分
散会
第1分科委員長
橋 浪蔵(自民)

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に橋浪
蔵委員(自民)、分科副委員長に檜林巖委員
(社会)をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法について協
議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道
政及び公明各1名計4名の理事を選び、その
協議により行うことをはかり、異議なく決
定。理事には、佐々木行雄委員(自民)、柏
倉勝雄委員(社会)、小野秀夫委員(道政)
及び工藤啓二委員(公明)をそれぞれ選出。

④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その
都度分科会にはかり決定することとした。

⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとす
ることに決定。

○3月26日(月) 午前10時32分、第1委員会室
において開議、午後4時42分
散会
第1分科委員長

橋 浪蔵(自民)

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

国本 康夫委員(自民)から、

暴力団対策に関し、3月中旬に札幌市にお
いて発生した暴力団発砲事件の概要と捜査状
況、住民不安を除去するためにとった措置、
拳銃など凶器の取締り対策、歓楽街からの暴
力団追放策、暴力団壊滅に向けての道警本部
長の決意等について

質疑及び要望があり、警察本部長及び刑事部長から答
弁があって公安委員会所管に対する質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

岩瀬 正人委員(自民)から、

新千歳空港の諸問題に関し、新千歳空港建
設計画の認識、これまでの進捗状況と供用開
始の目標時期等、今後残っている建設工事の
事業内容、用地買収の現況と今後の対策、空
港ビル建設の事業主体と着工時期、新空港へ
の国鉄の乗入れ計画、新千歳空港建設整備連
絡会議の組織機構と活動状況、共同溝設置の
必要性和滑走路の早期完成等、道の空港行政
の強化と機構改革との関連について

土屋 良三委員(自民)から、

ダム開発に関し、多目的ダムの重要性和道内で建設または調査中の多目的ダムの状況、沙流川ダム着工について地元との協議体制、平取町の地域振興対策、滝里ダムの地元との協議体制、ダム基本計画策定について知事意見を求められた時期及び前定例会で措置できなかった理由、他府県のダム建設に至るまでの状況、忠別ダム及び二風谷ダム建設予定地内における建物等の建設状況、沙流川ダム建設における河川法第57条による規制と補償上の差について、河川法第57条を適用した事例、ダム建設における国と地方公共団体の財政分担の明確化と国に要請して改善された点等について

大橋 晃委員（共産）から、

石狩湾新港地域の諸問題に関し、企業立地数の状況と基本計画との対比、用地の分譲面積と計画との対比、実際に操業している企業数の割合、操業できない企業が多い理由、57年東埠頭供用開始以後の企業立地に対する評価、雇用従業員数及び工業出荷額の計画と現状、石狩湾新港地域における産業基盤の投下資金、木材船の港湾使用料の予定と実績、新港管理組合の負担区分、地元自治体の財政負担に対する評価、港湾建設の見通しと完成時期等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があつて開発調整部所管に対する質疑を終結。

○3月27日（火） 午後4時32分、第1委員会室において開議、午後4時33分散会

第1分科委員長

橋 浪蔵（自民）

○ 委員長から、本日の議事は、この程度にとどめることをはかり、異議なく了承し散会。

○3月28日（水） 午後2時17分、第1委員会室において開議、午後4時48分散会

第1分科委員長

橋 浪蔵（自民）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

吉川 貴盛委員（自民）から、

交通安全対策に関し、交通事故の発生状況と特徴、交通事故防止の取り組み、交通事故防止の調査研究と早期着手への見解、シートベルト着用促進及び夜光反射材の普及対策、交通安全対策事務局が道民運動推進本部に位置づけられることの見解、道民運動の観点から交通安全対策を進めていく決意等について質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があつて、生活環境部及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

木戸浦 隆一委員（自民）から、

(1) 車両管理体制に関し、公用車の保有台数と管理状況、公用車更新基準6年（12万キロ）を経過した車の状況、道有車の油代、修理代及び車検代の総額、ディーゼル車を使用しない理由とディーゼルに切替えた場合の燃費節約の割合、ディーゼル車を導入する今後の考え方、公用車の事故件数と損害賠償額、年間走行キロ数が5,000キロ未満の車の借り上げ方式採用の所見

(2) 非常勤嘱託の扱いに関し、一般職と特別職非常勤職員の人数と予算額、勸奨退職者のうち非常勤嘱託として雇用されている人の率と人数、自己都合と勸奨との退職金の違い、勸奨非常勤職員の日常の人事管理状況、管理体制とその実態に対する考え、勸奨非常勤職員の勤務時間、府県職員服務規律により指導しなかった理由、上川支庁の勤務実態、勤務時間に満たない者の報酬問題、非常勤嘱託の健康保険適用問題、60年の定年制導入と勸奨退職制度の見直し等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○3月29日（木） 午前10時15分、第1委員会室において開議、午後5時8分散会

第1分科委員長

橋 浪蔵（自民）

○ 総務部所管に対する質疑の続行、

小野寺 勇委員（自民）から、

(1) 互助会への補助金に関し、地方公務員法第41条に関連し、互助会の補助金と給与改

定とのかかわり、互助会補助金の全国に占める位置、互助制度の国家公務員との比較、知事部局と教員及び警察互助会に対する補助金の格差さらにこれについての理解、互助会に対する補助対象事業と補助基準、互助会の短期給付事業の実態、家族療養制度を含め補助金を見直す考え等について

- (2) 地方公務員法第55条に関し、地公法第55条第3項でいう管理運営事項の解釈、職員の配置、庁舎等の新築・移転に伴う設計は管理運営事項か、施設職員の配置等について行われている文書確認の効力、部長及び支庁長が当局となる交渉事項の範囲、支部及び分会等の交渉当事者の能力の有無、適法でない交渉当事者と当局側が結んだ確認書の効力、越権あるいは違法と思われるような確認書を改める決意等について
- (3) 地方公務員法第37条に関し、ストを行った場合の対処について

吉川 貴盛委員（自民）から、

- (1) 庁舎管理に関し、国旗掲揚に対する道の取扱い、道の施設における国旗掲揚の現状、祝祭日に掲揚されていない施設が多いことへの見解、国旗掲揚の道有施設をふやす考え、広く国旗掲揚の道民運動を展開する考えについて
- (2) 国民の祝祭日に関し、国民の祝日を法律で定めている意義と道の祝い方、国が後援している建国記念日に奉祝行事を行う考え、建国記念日以外の祝日に対する奉祝行事の考え、現・前両知事の祝日における対応、私人と公人の区別及び知事が建国記念日にメッセージを出さなかった考え、知事が祝日において神宮の奉賛行事に出席しない理由、日本の伝統文化の紹介を北海道神宮で行ったことへの見解等について
- (3) 人事管理に関し、道職員の採用における競争試験と選考の区分、一般行政職の選考基準、6等級以上の職に格づけされる基準、道職員の年齢構成と係長クラスを組織機構の見直しで漸減していく考え、秘書課に主査ポストを新設し民間人を採用した理由及び特命的業務の内容、主査に採用した職員を人事委規則7条に定める6等級以上

の職に格づけした理由、秘書業務及び従来
の秘書課職員では処理できない理由、任用
制度を私していないかその見解等について

中川 義雄委員（自民）から、

政教分離に関し、宗教及び宗教団体の定義、北海道における遺族会の性格、信教の自由の範囲、神道指令の概要と政教分離に及ぼした影響、国家と宗教との完全な分離は不可能との最高裁判決に対する所見、国及び地方公共団体とかかわってよい宗教行為の範囲の判断、昭和26年の文部次官・引揚援護庁次長の通達に対する道の態度、包括的に議論できない政教分離の解釈を無視し、実面一審判決をそんたくした理由、民生部長通達を出すに際しての関係省庁・市町村との協議の必要性、政治と宗教に関しての所見等について
質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○3月30日（金） 午前10時26分、第1委員会室
において開議、午後2時45分
閉会

第1分科委員長

橋 浪蔵（自民）

① 総務部所管に対する質疑の続行、

新沼 浩委員（自民）から、

- (1) 法人道民税に関し、中小企業に対する税改正の基本的考え、法人道民税の均等割増額と赤字法人等本道の実情に即した地方税法第6条による不均一課税検討の有無、道条例の本則で標準税率を定め附則第14条で超過課税率を定めた考え、標準税率の対象範囲を税額800万円以下に拡大する考え
- (2) 財政問題に関し、今回議会に提出した中期財政計画と今後の財政運営との係わり、道が財政運営に当たる基本的態度を持たなかった理由、非現実的なケースA設定に対する考え、道の各種中長期計画を参考に取り入れなかった理由、財政収支試算では経済成長率6.5%を使っており道の実質成長率と非常に乖離している実態等について

中川 隆之委員（道政）から、

道内市町村の財政実態に関し、普通会計で実質収支が赤字団体の状況、最近の経常収支比率の推移、地方債許可制限比率を超えて起

債の制限を受けている団体とこれら市町村への財政指導、市町村立高校の道立移管後の財政負担軽減対策

相沢 武彦委員（公明）から、

石狩町と当別町の境界未定問題に関し、道内市町村の境界未決区域の状況、両町の境界決定が80年も決着しない原因、昭和2年に起きた境界訂正の内容と認識、関係証拠資料の存在とこれらに対する判断、明治35年に道が調整した地図に起因するする場合における地方自治法第9条によるその解決方法等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって総務部所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第2分科会

○3月23日（金） 午後4時32分、第2委員会室
において開議、午後4時41分
散会

第2分科委員長

萩上 元春（社会）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に萩上元春委員（社会）、分科副委員長に木本由孝委員（自民）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、松崎義雄委員（自民）、三沢道男委員（社会）、西村慎一委員（道政）及び相沢武彦委員（公明）をそれぞれ選出。

④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。

⑤ 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりすることに決定。

○3月26日（月） 午前10時43分、第2委員会室

において開議、午後5時散会
第2分科委員長

萩上 元春（社会）

○ 民生部所管に対する質疑に入り、

高橋 一史委員（自民）から、

日本船舶振興会から社会福祉法人に対する補助金に関し、補助金が米なくなった原因、船舶振興会との関係改善のためにとった措置と今後の対応策、船舶振興会への補助要望の状況と道単独事業として実施する考え等について

小野寺 勇委員（自民）から、

生活協同組合に関し、道内の生協の実態、札幌市民生協の組合員数・供給高・店舗数、生協の出店基準、員外利用の防止についての道の指導内容、員外利用を誘発するおそれのある宣伝・広告がなされている事実と是正の必要性、生協法の立法趣旨に対する見解及び今後の指導方針、生協の経営診断について道生協連に委託している目的と効果、生協に対する貸付金の貸付条件、貸付決定の手続等について

相沢 武彦委員（公明）から、

人工肛門及び人工膀胱使用者対策に関し、身障者福祉法の改正動向とストマ使用者への法適用の範囲、道内におけるストマ造設者の実態把握状況、法適用外患者に対する補装具の道費補助制度を創設する考え等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。

○3月27日（火） 午後4時32分、第2委員会室
において開議、午後4時33分
散会

第2分科委員長

萩上 元春（社会）

○ 委員長から、本日の会議はこの程度にとどめ散会することについてはかり、異議なく決定。

○3月28日（水） 午後2時12分、第2委員会室
において開議、午後5時8分
散会

第2分科委員長

萩上 元春（社会）

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

国本 康夫委員（自民）から、

廃棄物の処理に関し、道内における一般廃棄物の排出状況と処分状況、市町村に対する有効利用についての指導内容、一般廃棄物の資源回収状況、ごみ焼却工場における余熱利用の現況、道内における産業廃棄物の排出状況と事業者に対する資源化についての指導内容、水産加工場からの廃棄物の有効利用の状況、農業用廃プラスチックの再利用について研究する考え、一般廃棄物の資源化・減量化の啓発普及、産業廃棄物の適正処理と再利用に対する今後の取り組み方針、資源再利用を道民運動として定着させる必要性、廃棄物処理施設に対する補助・融資制度の内容、施設整備の促進に対する積極的な取り組み方等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部及び企業局所管に対する質疑を終結。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

(1) 海岸保全対策に関し、本道の海岸線の現況と所管別管理状況、建設省所管の海岸保全区域の現況と施設の実態、第3次海岸保全5カ年計画の進捗状況、海岸災害の状況と海岸保全事業に対する取り組み姿勢

(2) 土砂災害対策に関し、急傾斜地崩壊危険個所の把握状況、急傾斜地崩壊危険区域の指定率が低い理由と今後の指定に対する考え方、59年度の急傾斜地崩壊対策事業の内容、総合的な土砂災害対策の進め方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。

③ 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

生駒 隆介委員（自民）から、

市街地再開発事業に関し、都市再開発についての現行制度と市街地再開発事業の施行要件、道内の市街地再開発事業計画と実施状況、都市カルテ及びコミュニティ・マート構想と市街地再開発事業との関連性、再開発事業の推進状況及び地権者との合意形成のための指導内容、国及び地方公共団体の補助制度の内容、高度利用地区の拡大及び財政援助の

拡充に対する見解、再開発事業に対する技術指導体制の確立の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○3月29日（木） 午前10時34分、第2委員会室において開議、午後5時6分散会

第2分科委員長

萩上 元春（社会）

① 住宅都市部所管に対する質疑を続行、

久田 恭弘委員（自民）から、

(1) 小樽市の都市再開発事業に関し、小樽市の整備計画の進捗状況、商業近代化地域計画と都市計画との整合性、コミュニティ・マート構想の取り組み方等について

(2) 道道小樽臨港線に関し、小樽臨港線の重要性に対する認識、臨港線の工事に伴う運河の埋め立て面積、小樽市内の道路網の状況、地元の合意形成に対する考え方、臨港線の既設部分の事業費、運河の浄化のための公害防止対策事業の内容、臨港線事業の凍結又は中止になった場合の補助金の取扱い、代替ルートとしての市道港町線に対する見解、運河を全面保存する場合の原状回復義務者と費用、臨港線関連事業の内容について部長から知事に対する説明と本会議における知事答弁の真意、臨港線建設に関する建設大臣と知事との会談の内容、地元の合意が得られたと判断するための要件、臨港線着工に伴う小樽博覧会への影響、小樽臨港線に係る59年度予算の内容と工事工程及び発注の時期等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

木本 由孝委員（自民）から、

道立高校の建設に関し、教育長計における後期の実施計画の内容、札幌市内の高校新設計画と進捗状況、高校新設計画にあたっての中卒者の推計方法、稲雲高校の造成費が高い理由と用地選定の妥当性、篠路地区に新設予定校の開校年度、当初計画から1年遅れた理由、当初計画どおり60年度開校に向けての努力の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

○3月30日（金） 午前10時4分、第2委員会室
において開議、午後零時15分
閉会
第2分科委員長

萩上 元春（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑を続行、

若狭 靖委員（自民）から、

- (1) 北方領土に関する学校指導資料に関し、
指導資料の改訂作業の状況、具体的な利用
方法と配付先、学校における北方領土の学
習の具体的な取り扱いと教科書の記述内容
等
- (2) 学校教育における国旗掲揚、国歌斉唱に
関し、本道における学校行事での国旗・国
歌の取扱いの実態、国旗の掲揚及び国歌斉
唱に対する道教委の指導の状況等について

工藤 啓二委員（公明）から、

- (1) 選抜高校野球大会の出場辞退に関し、不
祥事件による過去の出場辞退の状況、函館
有斗高校の出場辞退に至る経過、出場辞退
の申し出に対する高野連の対応、元野球部
員の不祥事により出場辞退することに対す
る見解、当該生徒に対する今後の指導方針
- (2) 高等学校の施設整備に関し、教育長計後
期計画の新設高校の開校状況、仮校舎で開
校した校の本校舎整備計画、凌雲高校の仮
校舎の老朽化と早期に新校舎を整備する必
要性
- (3) 生徒指導と出席停止等の取扱いに関し、
最近における校内暴力の発生状況と要因、
卒業式等において警察官の警備を要請した
事例、教育現場への警察官の立ち入りに対
する見解、警察官の警備要請について教育
委員会の承認事項とする考え、出席停止に
対する文部省通達の内容及び道教委の指
導、学校管理規則の整備状況と指導方針、
高等学校における懲戒処分への取り扱い状況
及び適切な対処について十分な指導の必要
性等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって
教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する委員長報告については委
員長に一任することとした。

第3分科会

○3月23日（金） 午後4時33分、第11委員会室
において開議、午後4時41分
散会
第3分科委員長

岩本 允（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に岩本
允委員（自民）、分科副委員長に一野坪勉委
員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法等につい
て協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道
政及び公明各1計4名の理事を選び、その協
議により行うことをはかり、異議なく決定。
理事には、青山章委員（自民）、大平盛雄委
員（社会）、伊達忠一委員（道政）、浅野俊
一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、そ
の都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席
表のとおりとすることに決定。

○3月26日（月） 午前10時25分、第11委員会室
において開議、午後5時11分
散会
第3分科委員長

岩本 允（自民）

① 農務部所管に対する質疑に入り、

操上 良宏委員（自民）から、

農業改良普及事業に関し、池豊畜産基地及
び足寄地区畜産基地建設事業に対する普及指
導体制、普及所広域化の推進状況、駐在所の
統合方策、普及所の庁舎整備等執務環境の改
善対策、普及所の近代化計画作成の考え、改
良普及員の配置の状況、道農業の変遷と普及
所の体制、地域特性を配慮した普及所の人事
異動の必要性、普及員の研修実施状況、近年
の異常気象に対応した本年の営農指導等につ
いて

平井 進委員（自民）から、

(1) 農村の花嫁対策に関し、未婚農業後継者の実態及び道の対策と効果、農業や農村に対する理解不足など社会的要因による農村花嫁問題の受けとり方、農村のP・R対策、都市婦人と農村婦人の交流推進方法、花嫁対策の助成

(2) 農家の負債対策に関し、58年の農家現金収支からみた農家経済の実態、制度資金とプロパー資金の運用と構成、冷害による資金需要額調査を見直す考え、稲作・畑作農家に対する融資拡大対策

(3) 農地の譲渡所得税に関し、租税特別措置法による特別控除額の変遷、控除額引上げ要望に対する国の対応、控除額引上げについての道の対処方等について

柳谷 正一委員（公明）から、

冬季野菜対策に関し、昨年の全国的な異常気象等による冬野菜の道内への入荷量と価格の状況、本州からの入荷量減少の理由及び道産の自給率、冬野菜の自給率向上の対策、道産野菜貯蔵の実態、4月の端境期における確保対策、野菜貯蔵の試験研究と成果、自給率向上の試験研究等への積極的取り組みの考え、施設野菜の振興策、熱源有効利用による施設園芸の研究計画、道産野菜の生産振興の基本的考え、農家所得の確保と価格保証対策等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって農務部所管に対する質疑を終結。

② 農地開発部所管に対する質疑に入り、

寺崎 政朝委員（自民）から、

(1) 農業基盤整備事業の推進に関し、基盤整備事業推進の基本計画と重点事項、部の機構改正等の執行体制、農業基盤整備推進室の機能等、地域農業基盤整備計画推進事業費の内容、第三次土地改良長期計画と道分5兆円の積み上げ作業の手順、センター方式で実施している道営事業の関係機関別の応援体制及び補助監督制度見直しの考え、残事業量の見直しと整備水準を見直しする考え

(2) 土地改良区の運営に関し、水田利用再編第三期対策の厳しい情勢の中での土地改良区の現状と問題点、管理技術の高度化・土

地改良施設の多目的利用の見直し、水管理組織からの脱皮及び市町村・農協等との連携による負担力の強化等

(3) 農業集落排水事業に関し、制度化された事業の内容と目的、道の整備状況、地元からの中長期的な要望、採択地区数の少ない理由等

(4) 開発局と共同調査した冷害時における土地改良事業の効果等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

○ 3月27日（火） 午後4時31分、第11委員会室において開議、午後4時32分散会

第3分科委員長

岩本 允（自民）

○ 委員長から、本日の議事は、この程度にとどめることをはかり、異議なく了承し散会。

○ 3月28日（水） 午後2時18分、第11委員会室において開議、午後5時34分散会

第3分科委員長

岩本 允（自民）

① 林務部所管に対する質疑に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

(1) 保安林制度に関し、保安林の種別と所有区分、第3期保安林整備計画の実施状況、都市圏における保安林整備と保健休養等の目的に沿った保健保安林の配備対策、国有林の占める大きさと民有林の整備対策等、民有林補償制度の整備、森林の転用、特に保安林の対処方と管理対策、保安林整備臨時措置法の一部改正に対する見解等について

(2) 環境緑化の問題に関し、環境緑化の現状と林務部が所掌している事業内容、環境緑化対策事業の計画と進捗状況、海岸線緑化事業費の伸びない理由、海岸線緑化事業が地域産業の振興等に果たす役割、緑のふろさと整備事業の内容と実施市町村の選定基準、補助対象の内容等について

神戸 典臣委員（自民）から、

森林の病害虫問題に関し、森林害虫による

最近の被害状況と道の取り組み体制、主な害虫の種類と加害の態様、防除方法とその効果及び防除方法の決定の仕方、ヘリコプターによる薬剤散布と人畜への被害防止対策、道の害虫防除予算と昨年比マイナスの原因、カラマツハラアカハバチによる被害状況及び防除方法とその指導経過、ハラアカハバチの防除に対する助成制度の有無と負担軽減の今後の方策、生物的防除方法の内容と効果、キクイムシの発生の恐れ等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

② 水産部所管に対する質疑に入り、

綿貫 健輔委員（自民）から、

太平洋の小型サケ・マス流し網漁業の兼業対策に関し、小型サケ・マス流し網漁業の現況、以東船の経営状態とこの漁業を主としている割合、総負債額と一経営体当たりの負債額、返済不能等の不良負債額とその主たる原因、漁業の裏作の現況、イカ流し網漁業が170度以西海域において操業が禁止されるに至った経緯、小型サケ・マス業界の要望と道の考え、太平洋イカ流し網漁業問題検討委員会への助言・指導、サバ流し網漁業許可凍結の経緯、サバ資源の動向と許可に対する前向きな検討方等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○3月29日（木） 午前10時21分、第11委員会室
において開議、午後5時20分
散会

第3分科委員長

岩本 允（自民）

① 水産部所管に対する質疑の続行、

松崎 義雄委員（自民）から、

日本海の漁業振興対策に関し、日本海の栄養分が低い原因、イカゴロ等の投入による貧栄養対策の研究の有無、イカゴロ等投入の方法の規制と取り締り官片、イカゴロ等を廃棄物扱いとえさ等肥料にすることの区別、イカゴロ等投入の実証実験への見解、磯焼けの原因と対策等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産部所管に対する質疑を終結。

② 労働部所管に対する質疑に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

新規学校卒業者の就職対策に関し、就職内定状況と今後の見通し、大学等の卒業者の就職援助対策、高卒者について就職内定状況の全国対比、内定状況が悪い原因、求人開拓の具体的な実施内容及び目標、教員による求人開拓と予算、関係機関相互の連携と協力体制、就職対策連絡会議の内容と活動状況、職業適正検査等職業指導の具体的内容、合同選考会の内容、就職対策の視点に対する考え、新規学卒者に対する道独自の就職対策等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。

③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

平井 進委員（自民）から、

観光客の受け入れ体制の整備に関し、道内観光関係事業者の接遇態度と指導方策、貸し切りバスとバスガイドの実態、バスガイドの知識向上・養成問題とガイドの内容、ハイヤー運転手の接遇改善等について

神戸 典臣委員（自民）から、

(1) 企業誘致に関し、本道の企業誘致に対する認識、最近の不振の要因、道における企業誘致の課題と体制の強化、企業誘致の進め方、臨空・臨海等特性を持った工業団地に対する誘致優先度の有無、ホスビー社進出と地場産業の振興対策、道内企業との競合に対する道民理解、道内プレハブメーカーの現状等

(2) 北海道工鉱業開発促進条例に関し、条例の沿革と改正の主要点、条例による助成の内容と適用実績、現行条例と石川県等他府県との比較、他府県の進出企業実態調査の有無、条例を改正するにあたっての基本的考えと各層の意見、今回の主な改正点と限度額2億円とした根拠、団地指定拡大の考え方、今後の企業誘致の方策と誘致条例のあり方、条例を見直して整備すべき考え等について

関連して、宇川源吉委員（自民）から、

今日までの経過を踏まえた産炭地の企業誘致対策、条例改正により産炭地域の企業

誘致対策が薄れないよう専掌部門を設ける
考え、自治体との連携強化と今後の計画等
について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○3月30日（金） 午前10時11分、第11委員会室
において開議、午後2時12分
閉会

第3分科委員長

岩本 允（自民）

① 商工観光部所管に対する質疑に入り、

小野 秀夫委員（道政）から、

工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例
案に関し、工鉱業開発促進条例で第3次産業
であるソフトウェア業を対象とすることの妥
当性、産炭地域・低開発地域の振興という条
例制定の目的と今回の改正案との整合性、企
業誘致地域の拡大に伴う産炭地域等の振興に
対する影響、先端産業の誘致について改正条
例案で明文化しなかった理由とその妥当性等
について

大橋 見委員（共産）から、

サラ金問題に関し、サラ金2法施行後の苦
情相談の状況、道内における業者の登録状
況、立入り検査の状況、道民金融業協会に
対する補助目的と他府県の動向、同協会の目
的と事業内容、道の今後の指導方針等につい
て

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁が
あって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する委員長報告については、
委員長に一任することとした。

○3月30日（金） 午後5時14分、第1委員会室
において開議、午後6時11分
散会

委員長 石山 直行（自民）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会におけ
る審査の経過について報告、

② 知事に対する総括質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

小樽臨港線問題に関し、この事業は、道が
事業主体で行う街路事業のみならず、小樽市

が行う公害防止事業などと一体となっている
が、59年度の事業執行に対する知事の決意に
ついて

吉川 貴盛委員（自民）から、

(1) 祝祭日に関し、新穀感謝祭や建国記念日
の行事を宗教行事であるとする理由、神社
で行う行事と憲法第20条第3項の関係、政
教分離の趣旨、祝日には元旦及び憲法記念
日以外にもメッセージを出す考え等

(2) 人事管理に関し、秘書課に主査を民間か
ら採用した理由、道職員以外の者の採用が
組織の活性化に果たした役割、秘書業務の
基本と特別な技術の必要性、道の組織機
構、任用制度を私していないかの見解等に
ついて

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。

○3月31日（土） 午前10時33分、第1委員会室
において開議、午後8時23分
閉会

委員長 石山 直行（自民）

① 知事に対する総括質疑の続行、

中川 義雄委員（自民）から、

政教分離に関し、日本人の宗教観と神社・
神道に対する考え、一村一品運動等と宗教と
の関係、アメリカにおける政教分離の実態、
神道指令から現憲法制定に至る経過及び指令
の具体的事項、政治の神道利用及び軍国主義
の中での神道の果たした役割、津地鎮祭最高
裁判決が出た中で箕面裁判をそんたくし客観
的でないことに対する矛盾、北霊碑の慰霊祭
を献花方式と神式で行ったことに対する意
見、慰霊祭に出席しない判断基準及び客観的
判断基準を設ける考え等について

新沼 浩委員（自民）から、

(1) 法人道民税に関し、地方税法の改正によ
り均等割・法人税割等が増税となる中小企
業に対する救済策、道税条例附則第14条の
超過課税を目的達成後に標準税率へ戻す考
え、中小企業者に対し標準税率を緩和すべ
き所見

(2) 財政問題に関し、今回の中期的な財政計
画の財政運営上の受けとめ方、財政運営の
基本思想、財政の収支見通しケースAでの

人件費の伸び率ゼロ等極端な計算例の考え、各種の中長期計画を参考にして資料を作成しなかった理由及び作成し直す考え、ケースB作成に当たっての赤字への対応策等について

小野 秀夫委員（道政）から、

工鉱業開発促進条例の改正に関し、条例改正の主眼と経済団体等からの意見聴取、地域振興対策と産業構造の高度化との混在に対する見解、条例制定時の経緯と先端企業や指定団地等を拡大することの所見、今回の改正条例での先端産業の位置づけ、先端産業等の誘致を現行条例から離して単独条例を制定する考え等について

相沢 武彦委員（公明）から、

当別町と石狩町の境界問題に関し、紛争解決の手法と決意等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午後4時27分休憩、午後8時15分再開。

- ② 委員長から、議案第1号ないし第17号、第20号、第65号及び第67号ないし第83号について、原案可決となることについてはかり、異議なく決定。ついで、橋浪蔵委員（自民）から、本委員会の審議の経過にかんがみ、議案第1号について7項目の附帯意見（委員長報告参照）を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成あって動議成立し、これをはかり異議なく決定。
- ③ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。

注 決算特別委員会については、次号に一括掲載。

会 合

全国都道府県議会議長会

○4月6日（金） 全議会議室において役員会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつの後、協議に入り、全議事務総長から、昭和59年度本会行事計画について説明の後、協議の結果、原案のとおり承認。

次いで、全議事務総長から、4月19日開催予定の内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会の趣旨及び当日の運営方法並びにその概要説明があって、これを了承し、閉会した。

資 料

第1回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例	3. 31	4. 1	北海道条例第1号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第2号
北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第3号
札幌医科大学条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第4号
札幌医科大学衛生短期大学部条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第5号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第6号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第7号
北海道立青函トンネル記念館条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第8号
北海道危険動物飼養規制条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第9号
北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第10号
北海道立開拓記念館条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第11号
北海道立社会福祉総合センター条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第12号
北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第13号
北海道立保育専門学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第14号
北海道病院事業条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第15号
北海道委託衛生試験条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第16号
北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第17号
北海道立診療所条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第18号
北海道立看護学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第19号
公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第20号
食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第21号

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例	3. 31	4. 1	北海道条例第22号
北海道立工業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第23号
北海道立地下資源調査手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第24号
北海道立産業共進会場条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第25号
北海道立農業試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第26号
北海道種馬鈴しよ生産販売取締条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第27号
北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第28号
北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第29号
北海道普通河川及び堤防敷地条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第30号
北海道沿岸水域の工事取締条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第31号
北海道建築士法施行条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第32号
北海道立寒地建築研究所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第33号
北海道立都市公園条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第34号
北海道立水産試験場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第35号
北海道立水産孵化場手数料及び使用料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第36号
北海道立林業試験場条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第37号
北海道立林産試験場使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第38号
北海道木材業者製材業者合板及び平板業者登録条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第39号
北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第40号
北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第41号
北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第42号
北海道立青年の家条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第43号
北海道立少年自然の家条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第44号
北海道立美術館使用料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第45号

件名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道立体育センター条例の一部を改正する条例	3. 31	4. 1	北海道条例第46号
北海道警察組織条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第47号
北海道公営企業条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第48号
北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第49号

第37回衆議院議員総選挙結果

全国党派別当選者調

(昭和58年12月18日執行)

区 分 党派別	当 選 者				立候補者	得 票 数	得票率 (%)	前 回 の 当 選 者
	新	前	元	計				
自 民	23	219	8	250	339 (1)	25,982,785	45.8	284
社 会	21	79(2)	12	112(2)	144 (2)	11,065,082	19.5	107(2)
公 明	14	28	16	58	59	5,745,751	10.1	33
民 社	9	26	3	38	54	4,129,907	7.3	32
共 産	4(1)	16(2)	6(1)	26(4)	129(22)	5,302,485	9.3	29(7)
自 克	1	7	0	8	17	1,341,584	2.4	12
社 民 連	1	2	0	3	4	381,045	0.7	3
サラリーマン	0	0	0	0	1	37,135	0.1	0
諸 派	0	0	0	0	17	25,188	0.1	0
無 所 属	11(1)	4	1(1)	16(2)	84 (3)	2,768,735	4.9	11
計	84(2)	381(4)	46(2)	511(8)	848(28)	56,779,700	100.0	511(9)

注 1. () は婦人内数である。

2. 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

3. 立候補届出後急死した1名(東京都第2区、自民)を除く。

道内党派別当選者調

区 分 党派別	当 選 者				立 候 補 者				得 票 数	得票率 (%)	前回の 当選者
	新	前	元	計	新	前	元	計			
自 民	2	5	1	8	3	9	1	13	1,185,593	41.4	11
社 会	1	7	1	9	1	7	1	9	756,911	26.4	9
公 明	0	1	0	1	0	1	0	1	150,502	5.3	1
民 社	0	0	1	1	0	0	1	1	92,156	3.2	0
共 産	0	0	0	0	5(1)	0	0	5(1)	230,582	8.1	0
自 克	0	0	0	0	1	0	0	1	4,132	0.1	0
諸 派	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無 所 属	2(1)	1	0	3(1)	4(1)	1	0	5(1)	442,552	15.5	1
計	5(1)	14	3	22(1)	14(2)	18	3	35(2)	2,862,428	100.0	22

注 1. () は婦人内数である。

2. 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

都道府県別党派別当選者数調

分	区	数	定	数	自民	社会	公明	民社	共産	自	民	サ	ラ	リ	無	立
区												マ	ン	所	候	
															者	補
																数
北青岩宮秋山福	海	道森	5	22	8	9	1	1	0	0	0	0	0	0	3	35
		手	2	7	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10
		城	2	8	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	13
		田	2	9	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14
		形	2	8	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	12
		島	2	8	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	15
			3	12	7	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	21
茨栃群埼千東神	奈	城木	3	12	6	3	1	1	0	0	0	0	0	1	21	
		馬	2	10	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	13	
		玉	3	10	6	3	0	0	0	0	0	0	0	1	18	
		葉	5	15	7	2	3	1	0	1	0	0	0	1	29	
		京	4	16	9	3	3	0	1	0	0	0	0	0	30	
		川	11	43	14	6	11	3	6	2	1	0	0	0	85	
			5	19	3	5	4	4	0	3	0	0	0	0	33	
新富石福	鴻山川井	4	15	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	28	
		2	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
		2	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
		1	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	8		
山長岐静愛三	梨野阜岡知重	1	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
		4	13	8	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	20	
		2	9	5	2	1	0	1	0	0	0	0	0	14		
		3	14	6	3	1	2	0	0	0	0	0	2	22		
		6	22	9	4	2	4	0	0	0	0	0	3	35		
		2	9	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0	14		
滋京大兵奈和	歌	賀都	1	5	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	6	
		阪	2	10	4	1	2	2	1	0	0	0	0	0	14	
		庫	7	26	6	5	7	3	4	1	0	0	0	0	36	
		良	5	20	6	5	4	3	2	0	0	0	0	0	34	
		山	1	5	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	8	
			2	6	3	0	1	0	1	0	0	0	0	1	12	
鳥島岡広山	取根山島口	1	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
		1	5	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	6		
		2	10	5	2	2	0	0	0	1	0	0	0	16		
		3	12	7	2	2	1	0	0	0	0	0	0	21		
		2	9	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	13		
徳香愛高	島川媛知	1	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
		2	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
		3	9	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	15		
		1	5	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	8		
福佐長熊大宮鹿沖	児	岡賀	4	19	8	4	3	2	2	0	0	0	0	0	27	
		崎	1	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
		本	2	9	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0	14	
		分	2	10	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	16	
		崎	2	7	3	2	0	1	0	0	0	0	0	1	10	
		島	2	6	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	12	
		縄	4	11	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	19	
			1	5	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	6	
計		130	511	250	112	58	38	26	8	3	0	0	16	848		

道内候補者別得票数調査

北海道第1区(定数5)

氏名 市区 支庁(町村) 名	こだま 健 次 (共・新)	斉 藤 実 (公・前)	さとう 静 雄 (自・新)	町 村 信 孝 (自・新)	小 林 恒 人 (社・前)	竹 村 泰 子 (無・新)	みのわ (自・前)	登 (自・前)	有 効 投 票
札幌市中央区	7,554	12,264	6,244	18,864	8,604	15,708	8,865	8,865	78,103
札幌市北区	11,247	14,875	6,266	16,444	13,989	18,829	7,536	7,536	89,186
札幌市東区	14,276	16,852	6,286	16,711	16,017	17,861	7,656	7,656	95,659
札幌市白石区	15,217	20,615	6,401	17,951	15,507	21,122	8,333	8,333	105,146
札幌市豊平区	11,687	16,928	7,033	21,417	13,171	21,064	9,097	9,097	100,397
札幌市南区	5,437	8,696	5,232	14,290	8,676	12,523	7,442	7,442	62,296
札幌市西区	12,621	19,335	7,811	20,271	19,084	25,233	9,344	9,344	113,699
札幌市計	78,039	109,565	45,273	125,948	95,048	132,340	58,273	58,273	644,486
小樽市	12,853	12,521	4,884	7,233	17,358	10,154	20,804	20,804	85,807
江別市	4,432	5,895	2,221	9,556	5,177	11,362	4,222	4,222	42,865
千歳市	1,499	4,692	3,786	7,380	2,230	6,829	8,064	8,064	34,480
恵庭市	1,571	2,977	1,449	5,341	1,367	4,178	7,102	7,102	23,985
石狩支庁	5,450	6,692	4,758	9,708	5,941	12,692	6,729	6,729	51,970
後志支庁	5,362	8,160	25,006	6,648	13,502	7,606	9,776	9,776	76,060
合計	109,206	150,502	87,377	171,814	140,623	185,161	114,970	114,970	959,653
市内(市部)	98,394	135,650	57,613	155,458	121,180	164,863	98,465	98,465	831,623
内(市部)	10,812	14,852	29,764	16,356	19,443	20,298	16,505	16,505	128,030
石狩支庁	2,041	2,351	1,061	3,370	2,604	4,936	1,875	1,875	18,238
広島町	1,935	2,718	1,392	3,399	2,630	4,263	1,820	1,820	18,157
石狩支庁	1,063	800	1,174	1,843	524	1,860	1,809	1,809	9,073
当別町	60	208	812	550	48	397	431	431	2,506
新篠津村	77	401	241	271	61	507	292	292	1,850
厚田村	274	214	78	275	74	729	502	502	2,146
浜益村	5,450	6,692	4,758	9,708	5,941	12,692	6,729	6,729	51,970
後志支庁	148	204	747	116	280	134	267	267	1,896
後志支庁									
島村									

寿都町	430	331	875	162	621	279	619	3,317
黒松内町	228	204	820	197	685	272	334	2,740
蘭越町	163	420	1,761	408	910	590	465	4,717
ニセコ町	148	217	1,552	113	322	245	259	2,856
真狩村	56	161	717	165	286	187	382	1,954
留寿都村	75	126	492	161	187	93	181	1,315
喜茂別町	83	301	777	202	633	238	336	2,570
京極町	39	245	1,115	221	493	167	247	2,527
倶知安町	570	1,122	4,516	446	2,492	983	861	10,990
共和町	130	376	1,858	252	913	501	501	4,531
岩内町	829	1,517	2,506	1,269	1,694	985	1,519	10,319
泊村	189	239	391	81	203	198	382	1,683
神恵内村	41	138	293	116	188	140	183	1,099
積丹町	115	330	727	265	298	336	606	2,677
古平町	206	353	1,287	242	388	249	302	3,027
仁木町	293	244	1,095	306	545	325	308	3,116
余市町	1,513	1,574	3,148	1,810	2,187	1,607	1,949	13,788
赤井川村	106	58	329	116	177	77	75	938
計	5,362	8,160	25,006	6,648	13,502	7,606	9,776	76,060

北海道第2区(定数4)

市区町村名	氏名 ざわだ 耕七郎 (共・新)	五十嵐 広三 (社・前)	村上 茂利 (自・元)	安井 吉典 (社・前)	川 所 正 則 (自・前)	上 草 義 輝 (自・前)	有効投票
旭川市	7,271	40,436	39,354	34,785	27,798	27,960	177,604
留萌市	655	780	3,460	6,121	1,548	5,333	17,897
稚内市	1,209	7,874	6,548	1,646	3,929	4,434	25,640
士別市	491	5,321	3,426	931	2,322	3,247	15,738
名寄市	617	6,516	4,363	1,130	3,588	2,880	19,094
富良野市	634	679	2,439	6,320	3,388	2,106	15,566
上川支庁	1,947	10,971	17,215	20,608	16,571	13,766	81,078
留萌支庁	769	949	6,619	8,424	6,525	7,129	30,415
宗谷支庁	1,205	7,679	6,642	1,331	6,276	5,259	28,392
合 計	14,798	81,205	90,066	81,296	71,945	72,114	411,424

支区 支庁(町村) 支名	氏名	さわだ 耕七郎 (共・新)	五十嵐 広三 (社・前)	村上 茂利 (自・元)	安井 吉典 (社・前)	川田 正則 (自・前)	上 草 義 輝 (自・前)	有効投票
内 部 訳 部		10,877 3,921	61,606 19,599	59,590 30,476	50,933 30,363	42,573 29,372	45,960 26,154	271,539 139,885
上 川 支								
鷹 栖 町		102	265	904	1,560	788	883	4,502
東 神 楽 町		48	54	385	2,669	310	174	3,640
当 麻 町		82	367	2,008	1,214	613	1,634	5,918
比 布 町		211	253	680	997	794	487	3,422
愛 別 町		61	163	951	723	1,112	499	3,509
上 川 町		148	193	803	2,462	641	679	4,926
東 川 町		103	227	851	1,800	867	851	4,699
美 瑛 町		236	395	2,218	3,042	1,522	1,353	8,766
上 富良野町		141	315	2,103	1,872	1,797	1,700	7,928
中 富良野町		68	165	762	1,230	1,189	810	4,224
南 富良野町		60	90	365	1,287	384	369	2,555
占 冠 村		12	16	123	414	218	106	889
和 寒 町		115	984	1,113	236	656	1,008	4,112
剣 淵 町		157	1,013	580	146	863	429	3,188
朝 日 町		41	690	249	80	410	580	2,050
風 連 町		71	1,183	980	229	1,232	640	4,335
下 川 町		69	1,393	781	238	724	735	3,940
美 深 町		132	1,786	782	322	1,748	276	5,046
音 威子府村		37	637	128	29	243	146	1,220
中 川 町		53	782	449	58	460	407	2,209
計		1,947	10,971	17,215	20,608	16,571	13,766	81,078
留 萌 支								
増 毛 町		128	164	1,109	1,430	602	1,183	4,616
小 平 町		39	127	942	845	657	1,216	3,826
苫 前 町		73	137	723	934	871	774	3,512
羽 幌 町		219	181	1,787	2,410	1,589	1,513	7,699
初 山 別 村		45	41	192	497	433	336	1,544
遠 別 町		64	73	804	810	678	652	3,081

天 幌 幌 計	町 町	90 111 769	101 125 949	778 284 6,619	839 659 8,424	1,125 570 6,525	695 760 7,129	3,628 2,509 30,415
宗 猿 浜 中 枝 歌 豊 礼 利 東 計	支 弘 頓 頓 幸 登 富 文 尻 尻 計	74 147 152 281 73 196 92 123 67 1,205	531 1,486 950 1,320 745 995 495 613 544 7,679	392 611 249 1,085 481 847 748 784 1,445 6,642	96 143 78 420 98 185 152 80 79 1,331	510 654 520 1,291 502 841 908 549 501 6,276	473 839 457 818 287 879 545 569 392 5,259	2,076 3,880 2,406 5,215 2,186 3,943 2,940 2,718 3,028 28,392

北海道第3区(定数3)

市 支 区 名	氏 名 (町村)	清 野 清 (共・新)	谷 口 隆 司 (自・新)	小 笠 原 孝 (無・新)	阿 部 文 男 (自・前)	佐 藤 孝 行 (無・前)	お く の 一 雄 (社・新)	有 効 投 票
函 館 市 支 部 計 内 市 部 計 内 市 部 計	市 支 部 計 内 市 部 計	12,533 4,557 2,302 19,392 12,533 6,859	2,163 1,686 283 4,132 2,163 1,969	28,635 16,788 7,057 52,481 28,635 23,845	31,137 24,875 9,757 65,769 31,137 34,632	32,429 29,491 13,792 75,712 32,429 43,283	42,752 21,407 7,316 71,475 42,752 28,723	149,650 98,804 40,508 288,962 149,650 139,312
渡 島 支 部 計 内 市 部 計 内 市 部 計	市 支 部 計 内 市 部 計	322 193 87 241 990	78 81 469 204 254	1,461 746 833 848 2,954	1,997 1,797 840 1,130 3,912	2,942 1,604 1,292 1,333 3,785	1,231 740 538 1,151 3,908	8,031 5,161 4,059 4,907 15,803

氏名 市区町村(町村) 支庁名	清野 (共・新)	谷口隆司 (白ク・新)	小笠原孝 (無・新)	阿部文男 (白・前)	佐藤孝行 (無・前)	おくのー雄 (社・新)	有効投票
大野町	214	52	935	1,537	1,383	935	5,056
七飯町	698	164	2,322	2,212	2,913	3,444	11,753
戸井町	102	7	499	917	1,199	327	3,051
尻岸内町	109	15	339	910	1,485	451	3,309
楳法華村	31	4	301	428	332	163	1,259
南茅部町	110	17	726	1,422	2,371	653	5,299
鹿部町	58	22	247	674	1,202	370	2,573
砂原町	77	12	578	809	1,214	340	3,030
森町	334	105	1,535	1,993	2,783	1,955	8,705
八雲町	508	125	1,800	2,658	2,700	2,884	10,675
長万部町	483	77	664	1,639	953	2,317	6,133
計	4,557	1,686	16,788	24,875	29,491	21,407	98,804
檜山支庁							
江差町	436	46	1,639	1,503	1,994	1,900	7,518
上ノ国町	229	26	1,086	1,247	1,287	982	4,858
厚沢部町	186	23	1,040	993	1,076	669	3,988
乙部町	308	26	627	805	1,425	492	3,683
熊石町	116	22	651	1,132	582	542	3,045
大成町	192	14	282	576	1,111	296	2,471
奥尻町	126	48	276	1,235	952	366	3,003
瀬棚町	164	16	166	554	1,047	317	2,264
北山町	295	31	398	479	2,759	796	4,758
今金町	250	31	891	1,233	1,559	956	4,920
計	2,302	283	7,057	9,757	13,792	7,316	40,508

北海道第4区(定数5)

市区町村(支庁)名	高橋辰夫 (自・前)	三枝三郎 (自・前)	岡田春夫 (社・前)	渡辺省一 (自・前)	ほかお静子 (共・新)	小平忠 (民・元)	いけはた清一 (社・前)	有効投票
室蘭市	3,095	25,649	2,199	1,088	9,765	10,750	20,683	73,229
夕張市	739	542	9,498	2,827	3,538	1,527	432	19,103
岩見沢市	1,984	1,769	11,515	6,988	4,687	11,174	882	38,999
苫小牧市	15,320	4,214	3,880	7,590	10,528	9,286	16,547	67,365
美唄市	678	460	6,583	7,578	2,162	3,400	207	21,068
芦別市	1,891	1,487	7,210	2,100	1,892	2,038	233	16,851
赤平市	407	974	6,137	2,522	1,528	917	191	12,676
三笠市	434	305	6,128	1,957	1,328	1,685	202	12,039
滝川市	2,895	3,490	7,145	4,511	2,988	3,806	818	25,653
砂川市	688	744	4,756	2,647	1,521	2,265	271	12,892
歌志内市	112	476	3,062	1,005	917	229	71	5,872
深川市	2,240	2,320	395	3,096	2,029	3,570	5,360	19,010
登別市	4,207	5,913	1,107	1,217	4,184	3,948	8,918	29,494
伊達市	4,776	4,383	886	834	2,229	2,295	3,996	19,399
空知支庁	8,422	4,758	13,114	17,195	6,049	22,352	4,073	75,963
胆振支庁	12,755	6,531	1,575	5,100	5,123	6,277	9,631	46,992
日高支庁	11,480	5,743	1,536	9,441	6,240	6,637	14,322	55,399
合 計	72,123	69,758	86,726	77,696	66,708	92,156	86,837	552,004
内(市)	39,466	52,726	70,501	45,960	49,296	56,890	58,811	373,650
訳(郡)	32,657	17,032	16,225	31,736	17,412	35,266	28,026	178,354
空知支庁	156	54	274	673	97	1,914	18	3,186
北沢町	561	210	1,531	1,163	432	2,259	110	6,266
南幌町	336	249	396	951	276	1,288	63	3,559
泰井江町	735	163	1,088	1,428	629	1,130	122	5,295
上砂川町	178	195	4,013	627	1,007	292	124	6,436
山形町	642	236	1,149	1,243	258	1,566	119	5,213
長沼町	1,642	521	984	1,861	783	1,959	172	7,922
栗山町	961	490	2,324	2,042	970	3,001	189	9,977
月形町	183	210	515	894	150	1,355	91	3,398

市区 支庁(町村)	氏名	高橋辰夫 (自・前)	三枝三郎 (自・前)	岡田春夫 (社・前)	渡辺省一 (自・前)	ほかお静子 (共・新)	小平忠 (民・元)	いげはた清一 (社・前)	有効投票
浦臼町	浦新	190	132	92	667	90	867	197	2,235
	津川町	628	572	387	1,409	336	1,825	519	5,676
	妹背牛町	667	492	88	750	163	896	483	3,539
	秩父別町	353	129	32	918	198	796	278	2,704
	雨竜町	296	442	65	780	112	514	379	2,588
	北竜町	317	238	30	330	76	917	249	2,157
	沼田町	419	292	112	735	329	1,287	493	3,667
	幌加内町	158	133	34	724	143	486	467	2,145
	計	8,422	4,758	13,114	17,195	6,049	22,352	4,073	75,963
胆振支庁	豊浦町	701	852	72	541	395	423	687	3,671
	虻田町	1,350	993	176	709	536	692	1,895	6,351
	洞爺村	479	217	30	272	104	241	153	1,496
	大滝村	333	156	46	133	123	109	176	1,076
	壮瞥町	623	311	51	379	176	352	546	2,438
	白老町	4,565	1,455	713	775	1,685	1,413	1,932	12,538
	早来町	1,314	607	105	548	251	316	530	3,671
	分庁	405	208	89	290	485	337	1,366	3,180
	真川町	1,211	509	97	518	289	893	710	4,227
	厚川町	1,280	735	130	635	687	872	912	5,251
	穂別町	494	488	66	300	392	629	724	3,093
	計	12,755	6,531	1,575	5,100	5,123	6,277	9,631	46,992
日高支庁	日高	378	240	78	247	240	184	666	1,983
	取別町	839	333	152	1,032	450	760	1,228	4,794
	門別町	2,000	497	214	1,625	829	1,127	1,738	8,030
	新冠町	732	370	130	684	406	648	848	3,818
	内田町	2,494	1,943	431	1,719	1,390	1,452	3,552	12,981
	石川町	1,397	160	71	713	345	688	858	4,232
	河川町	1,836	1,199	336	1,111	1,685	973	3,518	10,658

様え	似町	857	608	100	1,017	432	531	987	4,532
り	町	947	393	74	1,293	463	274	927	4,371
計		11,480	5,743	1,586	9,441	6,240	6,637	14,322	55,399

北海道第5区(定数5)

氏名 市区町村(支庁)名	鈴木 宗男 (無・新)	しんむら源雄 (社・元)	安田 貴六 (自・前)	北村 義和 (自・前)	岡田 利春 (社・前)	たけべつとむ (無・新)	島田たくろう (社・前)	中川 昭一 (自・新)	しばた重郎太 (共・新)	有 効 投 票
釧路市	6,129	1,494	2,967	30,360	42,879	3,388	1,144	16,544	5,144	110,049
帯広市	14,036	22,586	926	2,347	898	953	481	43,525	2,729	88,481
北見市	2,308	338	15,655	1,075	560	10,776	17,714	6,770	1,912	57,108
網走市	1,909	152	3,930	304	355	6,149	7,237	3,002	860	23,898
紋別市	1,533	104	5,922	155	289	2,262	5,465	1,878	586	18,194
根室市	2,464	282	1,622	2,913	4,807	1,694	246	5,856	1,038	20,922
網走支庁	4,881	460	27,261	2,500	776	29,293	38,044	12,631	2,180	118,026
十勝支庁	24,371	38,800	1,207	4,163	1,014	1,148	538	53,292	3,106	127,639
釧路支庁	4,760	570	2,356	16,245	13,652	1,967	512	12,182	1,891	54,135
根室支庁	5,045	365	1,494	4,804	6,413	4,132	574	8,075	1,032	31,934
合 計	67,436	65,151	63,340	64,866	71,643	61,762	71,955	163,755	20,478	650,386
内 部	28,379	24,956	31,022	37,154	49,788	25,222	32,287	77,575	12,269	318,652
部 別	39,057	40,195	32,318	27,712	21,855	36,540	39,668	86,180	8,209	331,734
網走支庁	42	14	478	316	6	495	555	195	67	2,168
東藻琴村	183	24	1,245	123	29	1,102	823	502	25	4,056
女満別町	1,461	83	2,649	448	161	3,070	4,053	3,631	254	15,810
美幌町	152	14	889	117	44	1,259	2,336	1,041	147	5,999
津別町	107	59	639	222	55	5,164	3,221	295	202	9,964
斜里町	18	11	700	32	24	1,734	1,609	135	44	4,307
清里町	92	11	632	41	25	1,797	1,765	263	145	4,771
小清水町	101	4	874	154	16	1,121	866	264	45	3,445
端野町	116	15	979	298	112	1,459	1,095	553	127	4,754
訓子府町	55	11	955	86	21	952	1,402	395	49	3,926
置戸町										

氏名 市区 支庁(町村) 名	鈴木 宗男 (無・新)	しんむら源雄 (社・元)	安田 貴六 (自・前)	北村 義和 (自・前)	岡田 利春 (社・前)	たけべつとむ (無・新)	島田たくろう (社・前)	中川 昭一 (自・新)	しばた重郎太 (共・新)	有効投票
留 邊 薬 町	349	53	1,830	117	55	1,785	3,223	847	152	8,411
佐 呂 間 町	67	9	2,072	29	28	1,017	1,938	385	117	5,662
常 呂 町	291	8	1,068	132	16	971	771	465	70	3,792
生 田 原 町	26	6	509	26	10	606	858	328	39	2,408
遠 軽 町	282	66	4,318	94	73	1,889	4,438	993	304	12,457
丸 瀬 布 町	44	4	728	6	1	349	996	49	30	2,207
白 滝 村	20	1	399	-	-	250	564	40	10	1,284
上 湧 別 町	245	10	1,722	22	18	661	2,029	376	85	5,168
湧 別 町	43	5	1,251	16	10	992	1,549	250	28	4,144
滝 上 町	35	17	912	21	9	667	1,380	685	32	3,758
興 部 町	431	21	950	71	23	806	1,398	361	57	4,118
西 部 村	13	2	338	18	5	288	323	61	29	1,077
雄 武 町	708	12	1,124	111	35	859	852	517	122	4,340
計	4,881	460	27,261	2,500	776	29,293	38,044	12,631	2,180	118,026
十 勝 支 庁	3,282	5,794	110	453	134	117	102	9,557	554	20,103
音 更 町	815	1,354	6	241	17	21	12	1,975	211	4,652
士 幌 町	608	2,435	13	75	32	53	16	1,504	69	4,805
上 士 幌 町	643	1,277	96	463	35	58	13	1,708	52	4,345
鹿 追 町	1,019	2,246	66	210	49	51	22	2,249	99	6,011
新 得 町	1,062	2,308	92	731	102	88	45	3,551	267	8,246
清 水 町	1,639	2,679	107	295	101	67	58	5,174	350	10,470
芽 室 町	441	1,031	7	57	3	7	5	907	80	2,538
中 札 内 村	557	579	2	37	22	10	5	1,130	47	2,389
更 別 村	170	474	1	35	5	1	4	727	39	1,456
忠 類 村	879	1,516	74	24	53	47	10	2,549	136	5,288
大 樹 町	1,407	1,298	17	22	51	214	26	3,923	128	7,086
広 尾 町	2,043	4,268	78	180	102	162	46	5,860	407	13,146
幕 別 町	1,250	2,968	169	230	68	46	30	2,698	149	7,608
池 田 町	716	968	43	173	26	17	14	1,756	62	3,775
豊 頃 町	1,940	2,790	187	274	66	70	35	2,873	126	8,361

足	寄	町	3,861	1,987	16	322	49	16	28	1,607	133	8,019
陸	別	町	1,029	1,088	19	153	17	32	32	767	91	3,228
浦	幌	町	1,010	1,740	104	188	82	71	35	2,777	106	6,113
	計		24,371	38,800	1,207	4,163	1,014	1,148	538	53,292	3,106	127,639
釧	路	庁										
路	支											
厚	岸	町	385	84	428	2,807	1,864	279	57	1,566	278	7,748
浜	中	町	1,627	72	229	1,503	1,834	159	76	3,493	361	9,354
標	茶	町	654	38	375	1,354	1,285	151	23	1,443	149	5,472
弟	子	町	255	75	280	2,213	2,380	240	133	1,379	354	7,309
阿	寒	町	607	55	112	2,143	2,128	685	79	1,214	119	7,142
鶴	居	村	489	46	501	1,554	1,050	128	43	921	107	4,839
白	糖	町	16	24	52	1,240	205	10	8	70	112	1,737
音	別	町	495	135	212	2,691	2,483	264	70	1,471	332	8,153
	計		232	41	167	740	423	51	23	625	79	2,381
			4,760	570	2,356	16,245	13,652	1,967	512	12,182	1,891	54,135
根	室	庁										
別	海	町	1,699	146	676	1,628	1,579	1,243	317	3,326	593	11,207
中	標	町	2,081	151	376	2,236	2,937	1,340	174	2,333	340	11,968
標	津	町	451	34	267	608	1,041	870	53	1,078	49	4,451
羅	白	町	814	34	175	332	856	679	30	1,338	50	4,308
	計		5,045	365	1,494	4,804	6,413	4,132	574	8,075	1,032	31,934

注 1. 当選した候補者氏名は太字とした。
 2. 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

3 月 の メ モ

- 2 日 ○韓国で政治活動規制解除 全斗煥大統領が反体制詩人の金芝河氏ら202人に対し、2月25日規制解除を決定し、学生159人、一般刑事犯など約1,200人に特赦を実施した。
- 3 日 ○国鉄青函連絡船で出火し2人死亡 函館から青森へ向け津軽海峡を航行中の国鉄青函連絡船の貨物便「摩周丸」で、ブリッジ下船員室前廊下壁部分から出火、一等航海士ら2人が死亡、1人が重体、2人が重傷を負った。現場の状況から、放火とはほぼ断定された。
- 5 日 ○円相場が急騰 東京外国為替市場の円相場は、前週末のニューヨーク市場の円急騰を受け、一時先週末比8円6銭、円高でドル安の225円20銭まで値上がりした。225円台は約2年2か月ぶり。
- 7 日 ○中国残留孤児第5次訪日団帰国 中国残留日本人孤児第5次訪日団50人のうち、25人の身元が判明し、一行帰国。
- 8 日 ○宮沢元外相、暴漢に襲われる 東京都千代田区のホテルニューオータニで、自民党のニューリーダー、宮沢喜一元外相が、立正佼正会会長秘書の名前をかたった男と面談中、灰皿で殴りかかれ軽傷を負った。
- 9 日 ○大阪空港公害訴訟が決着 大阪地裁から13億円の職権和解案を提示されていた大阪空港公害訴訟は、被告の国が受諾。原告住民側はすでに受け入れを決めており、5次にわたるマンモス訴訟が、14年ぶりに全面決着。
- 文化財の指定答申 文化財保護審議会は、石狩管内広島町の旧島松駅通所など9件を史跡・名勝に、庶民信仰資料など3件を重要有形民俗文化財に指定するよう森文相に答申した。
- 10 日 ○五輪メダリスト北沢欣浩選手に「道民栄誉賞」 日本スピードスケート史上初の五輪メダリスト北沢欣浩選手(21)に、横路知事から、「道民栄誉賞」が贈られ

た。

- 12 日 ○財田川事件に無罪判決 裁判史上二番目の死刑囚の再審となった「財田川事件」の谷口繁義被告(53)に対する判決公判で、高松地裁は無罪を言い渡した。死刑が確定してから28年目。高松地検は控訴を断念(23日)。
- 北炭幌内炭鉱に金融支援策 通産省は経営危機を招いている北炭幌内炭鉱から選出された再建整備計画を妥当と判断、23億円の金融支援策を講ずる方針を固めた。
- 13 日 ○予算案が衆院通過 衆院本会議で59年度予算案を原案どおり可決し、参院へ送付した。
- レバノン国民融和会議再開 レバノンの内戦終結と国家の再建をめざす国民融和会議がスイスのローザンヌで開かれ、五派の軍事勢力代表からなる停戦委員会を発足させ、完全停戦実施で合意した。
- 14 日 ○国鉄、遊休地を1千億円余で売却 国鉄は東京・品川駅貨物跡地を売却することとし、一般公開競争入札により中堅不動産会社が1千億円余で落札した。1件の価格としては国鉄史上最高。
- 16 日 ○カネミ油症控訴審、原告が全面勝訴 カネミ油症事件の全国統一民事訴訟の控訴審判決公判が福岡高裁で開かれ、一審判決を覆し、食品公害で初めて、国の過失責任を認める判決を言い渡した。
- 18 日 ○グリコ社長誘拐され、脱出 大手菓子メーカー、江崎グリコの江崎勝久社長(42)が兵庫県西宮市の自宅で入浴中、覆面姿の二人組に誘拐され(18日)、犯人から現金10億円と金塊100キログラムを要求する脅迫状が届いた。江崎社長は、監禁されていた大阪府摂津市内の防水倉庫から自力で逃げ出し、救いを求め65時間後、無事保護された。(21日)。
- 21 日 ○米空母とソ連原潜が衝突 米韓合同軍事演習「チームスプリット'84」に参加している米空母キティホークとソ連の攻撃型原子力潜水艦が日本海で衝突。双方とも損傷を受けた。

22日 ○「ピース缶爆弾事件」で無罪判決 44年秋、警視庁機動隊舎にピース缶爆弾が投げられたりした事件で、東京地裁は6被告全員に無罪を言い渡した。

23日 ○中曽根首相が訪中 中曽根首相は、21世紀へ向けた日中両国の平和友好関係を確立する目的で、中国を訪問し、趙紫陽首相と会談、第二次円借款の供与、朝鮮半島の平和維持などで一致した。

○「平取事件」で死刑判決 54年、日高管内平取町ではく製業者城戸峯雄さん一家4人が射殺された「平取事件」で札幌地裁は太田勝憲被告に死刑判決が言い渡された。

○流水被害利尻・礼文で20億円以上 太平洋や日本海側に例年になく大量の流水が流れ出し、利尻、礼文、襟裳岬でコンブの被害が心配されたが、道の調査によると利尻、礼文だけで被害額は20億円以上。

26日 ○小樽運河問題打開のため横路知事と水野建設相会談 水野建設相は混迷を続ける小樽運河問題打開のため、横路知事と協議、運河を埋め立てる道道・小樽臨港線建設について「59年度工事は、小樽博が終了する8月末まで実施を見合わせる」ことで合意。27日、道議会は、このことで審議がストップ、会期を3日間延長、同知事は工事予算は年度中に執行、との見解を示す。

28日 ○暫定予算が成立 政府は59年度予算案について参院予算委の審議の遅れから臨時閣議で、総額3兆397億円の59年度一般会計暫定予算案を決め、国会に提出（28日）、衆院を通過（29日）、参院で可決、成立した（30日）。

○土呂久ヒ素公害で住民勝訴 宮崎県の土呂久鉱山ヒ素汚染で慢性ヒ素中毒症にかかった住民、遺族23人が、住友金属鉱山を相手に損害賠償を求めた訴訟で宮崎地裁延岡支部は住民側全面勝訴の判決を言い渡した。認容総額5億600万円。

○ロスの変死体は白石千鶴子さんと発表 米ロサンゼルス市警は、5年前同市で行

方不明になった白石千鶴子さんらしい変死体について、歯のエックス線写真照合などから千鶴子さんと断定したと発表した。

30日 北朝鮮が五輪に南北統一チーム呼びかけ 朝鮮民主主義人民共和国が韓国へオリンピックの南北統一チーム結成を呼びかけ。

○米海兵隊レバノン撤退 レーガン米大統領は、ペイルート駐留の国際監視軍への米国の参加を打ち切ると発表、米海兵隊は完全撤退することになった。

31日 ●第1回定例道議会閉会。

北海道議会時報 昭和59年第2号

昭和59年7月17日発行（通巻第36巻第2号）

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第36巻第2号（昭和59年第1回定例会）